

千八百七十五年
兵庫大阪貿易報告 二

羅
羅
羅

3410



羅
羅
羅
羅
羅

一千八百七十五年兵庫大阪兩港貿易報告

114
A

114
A 3142
6



領事「エ」子スリ「」氏ヨリ外務部「テ」ル

大正十一年四月贈

在兵庫大阪英國皇帝陛下ノ領事館ニ於テ一

千八百七十六年第六月十二日

我レ謹テ一千八百七十五年第二月三十一日

ニ終ル一週年間ノ兵庫大阪兩港ノ貿易景況并

ニ輸出入ニ係ル所ノ報告文ヲ編製シテ閣下

ニ捧呈ス其制タル悉ク一千八百七十二年第

月二十九日附クニテ閣下ヨリ回達セラレタル

教示ノ式例ニ準拠シ之レヲ甲乙丙ニ區別シ以

テ三様ノ表ヲ製セルナリ

代領事

エー、エー、エン子スリー 署

(甲号)

一千八百七十五年第十二月三十一日ニ
終ル一週年間ニ於テ外國船輸出入ニ係
ル兵庫大阪兩港ノ貿易表

第一

兩港ノ外國船輸出入ニ係ル貿易總計
(但シ貨幣ノ輸出入ヲ除ク)

兵庫

輸 入	輸 出	總 計
一〇四八六七一	五五〇八九九	一五九九五七〇
四二	二〇	七九

大阪

輸 入	輸 出	總 計
一一八五七九	四四〇六六三	一六二六四五三
〇	三	一

第二 貨幣輸出入

外國諸港ヨリ或ハ諸
港ニ輸入或ハ輸出
内地諸港ヨリ或ハ諸
港ニ輸入或ハ輸出

輸 入	輸 出	總 計
一四八八三	六八一、一七五	六九六、〇五八
二六	六三、七〇七	六八、一九四
四六二八九	七四	六八、一九四
四一、一七二	一三、一六八	一三、一六八
九二	七四	一三、一六八

但シ鐵道開業以降諸貨幣ノ出入ハ必ス兵
庫港ヲ經過スルヲ以テ之レヲ該港ノ貨幣
輸出入表ニ掲載セリ

第三 外國ト直接ニナシタル貿易表(但シ貨幣

羅 羅 羅

羅
羅
羅

ヲ除ク)

(報告スル所ナシ)

第四

除ク)

(報告スル所ナシ)

第五

第四表(但シ表ナシ)ノ總計ヲ示ス所ノ他ノ条約開港地ト外國船(何レノ國ノ船舶ナルモ其區別ヲ問ハズ)ヲ以テナシタル内地并ニ外國ノ貿易ヲ區分スル所ノ表

(報告スル所ナシ)

註ニ云洋銀ト封度トノ相庭ハ總テ一元ニ付キ三シルリンク十一シンスヲ以テ之レヲ計算ス然ル所以ハ現今兵庫港ニ於テ六ケ月期限ノ為換相庭斯クノ如クナレハナリ

(乙号)

兵庫大阪兩港ニ於テ一千八百七十五年ニ於ケル一週年間ノ英國貿易表

第一

各國ノ船舶ヲ以テ大英國并ニ其屬國ト直シタルシタル輸出入貿易價格表

(但レ貨幣ヲ除ク)

(報告スル所ナレ)

第二 各國ノ船舶ヲ以テ大英國并ニ其屬國
ト直接ニナレタル輸出入貿易價格表
(但レ貨幣ヲ除ク)

(報告スル所ナレ)

第三 大英國ノ船舶ヲ以テ他ノ条約開港地
トナレタル貿易表

(報告スル所ナレ)

第四 各國ノ船舶ヲ以テ他ノ条約諸港ヨリ

運送シ来ル大英、印度、或ハ大英屬地ヨ
リ輸入ノ貨物價格表(但レ貨幣ヲ除ク)
(報告スル所ナレ)

第五 各國ノ船舶ヲ以テ一旦他ノ条約諸港
一運送ノ上大英、印度、或ハ大英屬地ニ
向ケ輸出ノ貨物表

(報告スル所ナレ)

第六 大英國或ハ其屬地ヨリ及ニ大英國或
ハ其屬地ニ輸入、或ハ輸出シタル貨幣
表

羅 羅 高 高

一日 = 終一年間兵庫大及西港船出入長

部					
港		出入港合計			
噸	積荷代價	船數	噸數	噸數	積荷代價
-	-			-	-
-	-			-	-

部					
港		出入港合計			
噸	積荷代價	船數	噸數	噸數	積荷代價
-	-			-	-
-	-			-	-

七十二噸) 八太平洋郵便汽船 = 保儿

(報告スル所ナシ)

羅 一 高 一 一

(丙号) 千八百七十五年一月二十

英 國 船						
入 港				出		
船数	噸数	船名	積荷代價	船数	噸数	船名
兵庫						
大阪						

外 國 船						
入 港				出		
船数	噸数	船名	積荷代價	船数	噸数	船名
兵庫						
大阪						

(此) 合計 内 一百七十八艘 (三十四万九千八百)

領事「エ」子スリ「氏」ヨリ特命全權公使
 「ル」ハルリ「バ」ーク「ス」閣下ニ呈スル兵庫
 大阪貿易表

在兵庫大阪英國皇帝陛下ノ領事館ニ於テ一
 千八百七十六年第六月十二日

我レ謹テ一千八百七十五年十二月三十一日ニ
 終ル一週年間ノ兵庫大阪兩港ノ貿易景况報告
 文ニ附添スルニ左ノ数表ヲ以テ而シテ閣下
 ニ捧呈ス

兵庫

第一 輸入貿易表

第二 輸出貿易表

第三 外國船出入港表

第四 輸出入貨物上ヨリ収納セル諸稅并ニ船

第五 船出入港手数料表

第六 貨幣輸出入表

第七 外國商會并ニ居住人表

第八 輸入貿易表

第九 輸出貿易表

第十 輸出入貨物上ヨリ収納セル諸稅并ニ船

第十一 船出入港手数料表

第十二 貨幣輸出入表

第十三 外國商會并ニ居住人表

第十四 外國船出入港表

第十五 兵庫大阪兩港ノ貿易并ニ船舶出入港ノ

總計表

兵庫

一千八百七十五年ニ於ケル兵庫港ノ輸出入貿易(但シ貨幣ヲ除ク)ヲ以テ之レヲ前年ニ比スレ

ハ其貿易ニ若干ノ衰減ヲ生レタルハ即チ左ノ比較表ニ於テ示スカ如レ

輸入

一千八百七十四年

六〇三〇、二三九冊

一千八百七十五年

五、三五四、九一七

減

六七五、三二二

輸出

一千八百七十四年

四九五六、七二四冊

一千八百七十五年

二、八一三、一〇二

減

二、一四三、六二二

羅
羅
高
ラ

右表ニ於リ一千八百七十五年ニ於ケル兵庫港ノ貿易ヲ以テ之レテ一千八百七十四年ニ比スレハ其減額洋銀二百八十一万八千九百四十四弗ノ多キニ至レリ其衰態我レ實ニ之レヲ報告スルニ忍ビサル所ナリ

今当港ノ貿易景況熟考審察ノ為メニ我カ此報告文ニ附添セル所ノ輸出入表ノ各条ニ掲載セレモノハ總テ兵庫港高賈會館ノ統計表(該統計表ハ兵庫港高賈會館ヨリ懇懇懇切ノ意ヲ以テ我カ覽閱後川ノ用ニ供センモノニシテ

昨年中当港ニ於テ実地行ハレタル輸入貿易
全局ノ景况ヲ明カニ示スモノナリニ於リ然レ
テ又報告文ニ付添セル所ノ輸出入諸表ニ示ス
モノハ税関ニ於テ刊行シ我レニ送付セラレタ
ル所ノ輸出入表ニ於テ編製セルモノナリ然ル
カ故ニ一週年間中實際当港ヨリ輸出レ或ハ当
港ニ輸入セル貨物ノ実額ハ税関ノ表ニ於ルモ
ノニシテ此ノ報告ノ確實ナルハ信ヲ置クニ足
レリ然リ而シテ斯ル種類ノ報告ニ於テ唯要ス
ル所ノモノハ当港ニ輸入セル所ノ貨物ノ数量

及ヒ其價格並ニ当港ヨリ輸出セル所ノ貨物ノ
数量及ヒ其價格ヲ確實ニスルニ在リ故ニ我レ
ハ爰ニ税関報告ヲ採リ之レヲ基本トシ以テ昨
年ト昨年(即チ一千八百七十四年)トニ於ケル兵
庫港貿易ノ比較ヲ立ルモノナリ然レト一十八
百七十五年ニ当港及ヒ大坂ニ於テ行ナハレタ
ル貿易ノ実况ヲ以テ之レヲ一千八百七十四年
ノ貿易ノ実况ニ比較スルヲ必要ト看認ルカ故
ニ余レハ爰ニ兵庫及ヒ大坂ノ商賈會館ニ於テ
編製セル貿易統計表ニ於テ左ノ表ヲ作り以テ

鹽
ノ
羅
高
ノ
ノ

其比較ヲ揭示ス

一千八百七十五年ノ貿易高

一千八百七十五年ノ分

洋銀五百七十二万六千七百九十七元

輸入高

同 三百〇九万二千四百〇五元

輸出高

計 洋銀八百八十一万九千二百〇二元

一千八百七十四年ノ分

洋銀六百八十八万八千九百二十六元

輸入高

同 五百二十七万九千七百十三元

輸出高

計 洋銀千二百十六万八千六百三十九元

鹽
羅
高
ラ

右ノ表ニ於リ一千八百七十五年ニ於ケル兵庫
及ヒ大阪ノ兩港ノ貿易高ヲ以テ之レヲ一千八
百七十四年ノ高ニ對比スレハ現ニ洋銀三百三
十四万九千四百三十七元ノ減額ヲ生セリ斯ク
著明ナル減額ノ起ル所以ノモノハ何ソヤ蓋シ
是レ取引ヲナレタル貨物ノ高及ヒ價格ノ減少
低下ニ回ルナリ

總テ昨一週年間取引上貿易ノ結果ハ自然ノ
ナスナ如ク大ニ不景氣ヲ極メタリ是故ニ貨物
ノ價格モ亦其勢已ハラ得ス之レニ隨テ下落シ

タルナリ

輸入ノ部

一千八百七十五年間中ニ取引セシ貨物ノ総價額ハ洋銀五百七十二万六千七百九十七元ナリ之レヲ一千八百七十四年ノ総價額ニ對比スレハ洋銀百十六万二千百二十九元ヲ減セリ但レ此減額ハ殆ト木綿物ニ限リ生スル所ノモノナリ

木綿茶 減額 洋銀二十萬元
 金巾 同 三十六萬元

生綿 同 十八万五千元

斯ノ如クナルヲ以テ木綿物ノ輸入取引ハ之レヲ前年ニ比スレハ大ニ減少セレト明瞭ナルヘシ尤モロストルニシテ、^イロ^ロヒ^ツム^スライ^ンス^ド、^レイ^ニチ^ヤイ^ナ、^フイ^ギユ^ルス^ニ及^ヒカ^ラ子^ハ五^品ハ其輸入取引ノ高増加セリ然レモ此ノ他毛織物ノ輸入ハ大ニ減少セタリ右ハ外國人ノカラ以テ取調一能フ丈ケノモノヲ掲載セレナレハ之ヲ以テ兵庫大坂兩港ニ於ケル貿易ノ総價額ヲ分毫モ遺漏スル所ナク明瞭

羅
 羅
 高
 高

羅
羅
羅

ニ揭示シタル正確ナルモノト云ヒ難レ今ヤ日
本蒸氣船ノ大坂ト東京ノ間ニ駛走汪復スルモ
ノ數隻ナレハ必ス之レニ搭積シテ許多ノ外國
貨物ヲ輸入スルヤ毫モ疑ヲ置クヘキナレ此レ
ニ由テ是レヲ考察スレハ此ノ地方ニ於テ消費
スル所ノ西洋及物ノ量數(縱ニ當港ニ於テ外國
商賈ノ手ヲ經テ實ニ取引セシモノ少量ナルニ
モセヨ)ハ昨年ニ超過セサルモ決レテ之レニ下
ラサルヘレ故ニ輸入ノ數量大ニ減少レタルカ
如クナレハ其実其減數ハ思ノ外大量ニ至ラサ

ルヘレ
概計スルニ輸入ノ三分一強ハ蓋シ支那人ノ販
賣スル所ニシテ其品ハ上海ニ於テ競賣ニナセ
ルヲ購求シ而シテ舶齋シ来ル所ノモノナリ故
ニ此類ノ貨物ハ概テ下ボノ品質ニシテ或ハ完
全ナラサルモノモ亦鮮クナラス是レボノ貨物
ノ為メニ偏敷ヨリ直接ニ輸入シ来ル貨物ノ價
格上ニ多少ノ障害ヲ蒙ラレハ是レ前年ニ比ス
レハ直接輸入貨物ノ價格ヲ下落セシメレ所以
ノ原因ナリ

取川貨物中其重ナルモノヲ左ニ陸列ス
生金中

此ノ取川高三十六万〇三百五十八反ニレテ其
價洋銀八十万一千〇四十四元十リ但シ千八百
七十四年ノ取川高ハ四十八万五千四百〇七反
ニレテ其價洋銀百十六万六千三百三十四元十リ
キ

該品ノ貿易ハ当令ニ至テハ殆ト支那人ノ專賣
ニ歸セリ然ル所以ハ前ニ述ルカ如ク上海ヨリ
舶載シ来リテ日本産物トノ交易ニ充ツルカ故

羅
一
羅
高
ラ

ニ甘レテ之レヲ元價(競賣ニテ購求レタル)ニテ
賣捌ケハナリ然リ而レテ其品大半ハコンモン
チヨブ(金中)ノ名ノ八分四分ノ一ノモノニレテ其價
ハ一反ニ付キ洋銀二元二十セントト乃至二元三
十五セントトナリキ今爰ニ故テニ要スル所ノ一
言アリ生金中ノ購求ニ於テハ誰モ之レヲ競争
シテ買収スルモノナリ唯獨リ日本ノ一商会有
リテ之レヲ大口ニ買収レ而シテ小商賣ニ分賣
スルノミナリ

木綿糸

此ノ品ノ貿易ハ之レヲ一千八百七十四年ニ比
 スレハ非常ノ減額ナリ其數量一千八百七十四
 年ニ於テハ八十三万八千五百斤ナリシニ一千
 八百七十五年ニ至テハ三十一万二千斤ナリ然
 レハ水綿糸ノ全消費高ハ獨リ右ノ如キ數量ニ
 止ルニアラザルヘシ何トナレハ日本人ノ横濱
 港ヨリ輸入セシ所ノ數量又甚タ大ナレハナリ
 此ノ品モ亦前頭ノ生金中ト一般ニシテ之レヲ
 購求スルハ唯日本ノ二商會アルノミニシテ大
 口ニ之レヲ買収シテ而シテ他ノ商賈ニ分賣セ

羅
 羅
 羅
 羅

更紗

諸様花紋ノ更紗取引總高ハ四万一千四百〇九
 反ニシテ一千八百七十四年ニ於テハ四万六千
 五百十四反ナリシ此ノ品ノ大半ハ前年ニ於テ
 ルカ如ク支那人ノ上海ヨリ輸入スル所ニ係シ
 リ其價中オ品位ノモノハ洋銀一元七十セント
 ノ至ニ元ノ間ニ在テ懸カナリ
 日ルキーレット、カムブリ、ス（和名 緋 鉾中）
 一千八百七十五年ノ取引高ハ五万四千〇八十

又ニレテ其價洋銀十二万五千〇十七元ナリ此
ノ品ノ市價ハ年中景氣宜シキトアルナリ僅ニ
十月ニ於テ一時ノ騰貴ヲナレタレノミナリ
黒綿天鷲絨

此ノ品ノ取引高ハ一千八百七十五年ニ於テハ
一万六千五百二十三及ニレテ其價洋銀十四万
五千八百六十六元ナリ而シテ一千八百七十四
年ニ於テハ其高一万九千九百六十及ニレテ其
價洋銀十八万二千四百二十二元ナリ此品ノ
價ハ下落セシト虽氏要求ハ之レニ拘ハラズ仍

羅
高
羅

ホ大ニ減少レタリ其相庭ノ高点ハ一月ニ在リ
而シテ漸々下落シ七月ニ於テ低点ノ極ニ達セ
リ八月ニ至テ稍々少レク其景氣ヲ恢復セリ而
シテ下ガ品位ノ多量ヲ輸入シテ之レヲ低價ニ
テ賣捌キレモノハ獨リ支那人ナリ
ウ井クトリヤラウンス

此ノ品取引ノ衰減ハ最モ著シク一千八百七十
四年ニ於テハ其取引高八万一千七百二十八及
ニレテ其價洋銀八万一千七百五十五元ナリシ
カ一千八百七十五年ニ至テハ其高僅ニ四万四

千六百〇八及ニシテ其價モ亦僅ニ洋銀四万六
千九百元ナリ其最モ高價ニ上リシハ七月ニシ
テ十月以後ハ其要求絶一タリ蓋シ該品ハ冬日
ノ間時候ニ不向キナルモノナレハナリ〇九十ノ
西月頃ニ於テハ通例支那國ニ輸入シテ一及ニ付キ
洋銀九十八セント乃至一元位ニ賣捌ク所ノモ
ノヨリ一層下ボノ品ノ要求アリタリ

唐棧

此品ノ一千八百七十五年ニ於ケル取引高ハ之
レヲ前年ニ比較シテ甚シキ差違アルヲナク一

羅
フ
羅
精
ラ

千八百七十五年ノ高ハ四万〇百六十及ニシテ
前年ノ高ハ四万二千八百二十及ナリ然レハ其
價ニ至リテハ大ニ下落シ又之レヲ賣捌クニモ
實ニ因淡ヲ極メタリ此品ノ貿易ニ付テハ近年

時好ニ变换アルカ為メ大ニ不景氣勝ナリ

ツリルズ、白金巾、綿羅紗、縐子、アロゲ、一ツ及ヒ深

金巾

此レボノ品ハ其取引高ニ限り有リテ之レヲ前
年ニ比スレハ大ニ減少シ其價モ亦随テ一般ニ
下落セリ

羅 羅 羅

ムースライインデレイン(和名緬甸)
 此ノ品取引ノ増加ハ甚ク盛ニシテ輸入物品中
 高オノ部内ニ居レリ而シテ其品重ニ日耳曼ノ
 製出ニシテ日耳曼商社ノ獨リ專ラ陸統船載輸入
 スル所ノモノニ係レリ
 然ルニ英國ニ於テハ此ノ物品ノ製造佛獨二國
 ニ及ハスシテ之レト高利ノ鋒ヲ爭競シ能ハサ
 ルモノハ實ニ慨嘆スヘキニアラスヤ蓋シ該物品
 ノ價額ハ輸入貨物價額ノ五分ノ一ニ居レリ豈
 ニ巨大ナラスヤ

ブラド子ルト地ノ製造者ヨリ當港ニ在ル英ノ
 一高社ニ寄贈セル骨筋(鯨)ノ意ヲ以テ我レニ
 借レテ一覽セシメシモノ中ニ英國縮緬吳紹製
 造ノ佛獨二國ニ及ハサル事由ヲ詳審ニ陳述セ
 リ因テ今之ヲ拔萃シテ左ニ掲載ス
 ヲクシヤールニ於テハ佛國ト競争スル程ニ
 縮緬吳紹ヲ賤價ニ製造シ能ハサルト決セリ
 世人一般ニ引シカレヤールト地及ヒ引シカレヤールト地
 ノ地ハ其凡土大陸佛獨オノ如ク織物ノ染色ニ
 光沢ヲ生セシマルニ充分適應セスト言ヒ做セ

羅
一
羅
精
一

此是レ全ク此一事ニ限ラサルヘシ毛織物及ヒ
 毛木綿交織物ノ如キニ至テハ其深^ニ色佛製ノ光
 沢アルモノニ並肩センテ我輩ノ企及スヘシト
 スル所ニシテ佛人ハ自ラ讓テ我輩ト競争レ難
 レトセリ夫レ實ニ然ラレ現ニ毛木綿交織物ノ
 深^ニ色ニ至テハ佛國ニ於テ故ラニ英人ヲ傭入レ
 諸染場ニ於テ其技倆ヲ行ヒ織物ヲ深^ニメシメ夥
 レク英國ニ輸入セリ而シテ斯ク夥^ニシク英國ニ
 輸入スルモノ何^レヲ蓋シ佛國ニ於テハ年々此織
 物ヲ製造スルニ馴練慣熟セルカ故ニ製造ノ際

自ラ其諸手数ヲ省キ費用モ亦随テ許多ヲ要セ
 ヲルカ故ニ其價低賤ナルヲ以テナリ若シ我カ
 英國人民ニシテ此業ヲ興起シ其成功ヲ遂グル
 ニ巨額ノ資本ヲ要セサラハ我輩ハ必ス之レヲ
 企テ試ムル^ト猶豫セサルヘシ然レハ我輩ハ
 他ノ製造者ト結合シテ此興業ヲ果サント企テ
 シカハ英國ト佛國(緬^ニ吳^ノ紹^ノ産^ノ出^ノ地)トノ間ニ
 於ケル傭工錢ノ差^ニ遠^ニハ此興業ニ付テ實ニ避ク
 ヘカ^ラサル障碍ナルヲ見出シ^テ佛國ニ於テ
 ハ傭工ノ賃^ニ尠^ニ廉^ニニレ^ラ且^ツ供給ノ多キ英國ト

羅
羅
高
ラ

同日ノ比ニアラス是レ佛國ヲシテ該品ヲ賤價ニ産出セシムル所以ニシテ而シテ其賤價ニ産出スルヲ得ルモノハ傭工及ノ廉ナルヲ其一
大要部ニ居レリ

右ノ拔萃文ニ回テ畧ホ其事情ヲ知ルニ足レリ然レテ我カ聞ク所ニ回レハ今日マテ英國ニ於テ縮緬吳紹ノ製造ヲ妨碍セシモノハ諸様花紋ノ流行一時ニシテ衰止スルカ故ニ屢々其摸型ヲ改新スルニ付キ随テ其機械ヲ変更スルノ費用莫大ナルト瓜土ノ染色ニ適セサルカ為メニ

諸様ノ光沢アル漆ノヲナスニ容易ナラサルトナリレカ氏近來漸ク日本人ノ無地ヲ好ムカ故ニ大ニ其有様ヲ異ニスルニ至レリ無地縮緬吳紹ノ如キハヨククレーンル其他ノ地ニ於テモ亦歐洲大陸ニ於ケルト同一般ニ製造スルヲ得ルヲ決レテ疑ヒナカルヘシ

当期(即チ一千八百七十五年)ノ該品取川高ヲ調査スルニ其數二十万一千三百四十二反其代價洋銀一百〇八万九千六百七十四元ニシテ一千八百七十四年ニ於テハ其數十万三千七百六十

及其代價洋銀六十五万四千二百元ナリキ則チ
一千八百七十五年ノ取引高ヲ以テ一千八百七
十四年ノ高ニ比較スレバ殆ト一倍ヲ増加セリ
右取引高ノ内十中八九ハ無地ニ属シ諸様花紋
ノ品ノ如キハ大ニ其需要ヲ減セリ是ヲ以テ日
本人ノ輕利浮薄一時ノ流行ヲ逐ク需要ニ轉遷
アルカ為メニ其輸入ヲレテ利益ナキニ至ラレ
ムルヲ觀ルヘレ而レテ其代價ハ年中甚ク低ク
ニレテ平ラナリ需ホノ多カリレハ一月ヨリ三
月ノ間及ヒ八月ヨリ十二月ノ間ナリキ但シ談

羅
羅
高

品ハ其輸入ノ許多ナルト當港輸入貨物中第一
ノ地位ニ居レリ
此報告文ニ附添セル税関輸出入表中輸入ノ部
縮緬吳縐ノ条下ニ此毛織物即チ縮緬吳縐ノ掲載ナレ
ト蚕氏現ニ一千八百七十五年中兵庫港ニ輸入
セラレタルモノハ其代價一百万元ノ上ニ出テ
タルナリ而レテ斯ル非常ナル遺漏ノ目ヲ起ル所
以ハ兵庫税関ノ説ク所ニ拠レハ昨年(即チ一千
八百七十五年)中當港輸入ノ縮緬吳縐ハ全ク毛
木綿交織物ノ部中ニ混載セシヲ以テノ故ニレ

テハストルスノ毛織物モ亦之レニ同レト
ハストルス及ヒホルレンス

此物品ノ取引高モ亦許多ナリ一千八百七十四
年ニ於テハ八万八千二百二十二及一千八百七十
五年ニ於テハ九万八千三百四十四及ニシテ其
取引高中ニ就テ最モ重モナル品ハ黒無地「オル
レンス」ナリキ而シテ取引高ハ之レヲ一千八百
七十四年ノ高ニ比較スレハ多數ナレ其代價
ニ至リテハ終年唯低下ニ傾向セルノミナリキ
○是レガ物品ノ貿易ハ専ラ英國ノ製造者ノ行フ

羅
一
羅
高
一

所ニシテ兩三年以降取引ノ景況始メテ盛ナル
ニ至レリ

黒引スチング

此品ノ一千八百七十五年ノ輸入高ハ僅カニ七
千三百二十及ニシテ其代價ハ終年下落勝チナ
リ就中年末ニ至リテハ最上品ニテ其價洋銀十
二元五十セントノ低キニ下レリ而シテ其最モ
高カリレ氏ノ價ハ洋銀十四元マテニ上レリ但
シ一千八百七十四年ニ於テハ洋銀十五元ノ高
價ニ上リタル「ア」リキ此品ノ輸入高ニ限リア

羅
高
羅
高

ル所以ハ日本商賈ノ付ケ直段甚ク低クシテ原
價ニ引合ハサルヲ以テノ故ナリ
イタリヤン、コロール

此品ノ取引ノ衰減ハ最モ大甚ダレク一千八百
七十四年ニ於テハ十七万一千二百六十九
ナリシカ一千八百七十五年ニ至テハ僅ニ六万
三千九百八十五ナルトニ減シタリ而シテ其代
價ハ一般ニ極メテ利アラサリシ

羅紗

該品ノ一千八百七十五年ノ取引高ハ之レヲ一

千八百七十四年ニ比スレハ稍々多レト雖ハ是
レ全ク本年輸入シテ賣捌キタルモノニ非ス既
ニ前年輸入シテ庫内ニ蔵積シ置キタルモノヲ
本年ニ至リテ強テ賣口ヲ求メテ賣捌キタルニ
外ナラサルナリ何トナレハ該物品ハ曾テ大損
失ヲ被ムリレヨリ以來其輸入ハ頓ニ絶ヘタレ
ハナリ○二月ヨリ九月マテノ間ハ絶テ要求者
ナカリレカ終季ノ三ヶ月間ニ至リテ非常ナル
低價ニテ之レヲ買収セント欲スルモノアリ
リ然ルニ要求者ノ欲スル所ノ價ヲ以テ之レヲ

賣却セバ賣者ニ於テハ實ニ五割ノ損失ナルヲ
 知リツ、モ己ムヲ得スレテ其付ケ直段ヲ領諾
 レタリ若シ然カセサレハ一千八百七十六年ノ
 末ニ於ケル需求アルノ時ニ至ルマテ日ヲ曠シ
 ウレテ待タサルヲ得サルナリ而シテ今ハ既ニ
 蔵積ノ品モ減シ品不足ノ時ナレハ其景氣自ラ
 恢復セサル可カラサルノ時ナルニ尚ホ依然ト
 シテ其代價ヲ引上ケテ買取セントスルモノ稀
 少ナリ是レ蓋シ西洋服ノ流行大ニ衰へ之レヲ
 用フルモノ幾カニ在官人ノミナルカ為ノナリ

羅
 高
 羅
 高
 羅
 高

○一千八百七十五年ノ取引高ハ二十六万千七
 百九十二万ドルニシテ之レヲ一千八百七十四
 年ノ高ニ比スレハ四万ドルヲ増加セリ該品
 ノ要求ニ適セルハ専ラ黒地及ヒ紺地ノ列レシ
 デンツ^ル及ヒ^ルハイロツト^ル西^洋紗^ノ名^稱ニ限^リトス
 就中黒地ハ其要求夥多ナリ
 カヲ子^ル
 該品ノ要求ハ全ク絶へタルニ非ス十一万三千
 五百^万ドル^ノ大^キケ^ノ取^引アリテ其價ハ洋銀二万
 八千九百^〇四^元ナリ而シテ其多分ニ取引ア

リタル品ハ其色種々ニレテ其價一ヤルドニ付
キ平均二十五セント位ナル下オ質ノ品ナリ現
令該品ノ大ニ需要アル所以ハ一般ニ縹緞ヲ裁
スルニ用フルヲ以テナリ蓋レ刀ラ子ルノ縹緞
ヲ以テ西洋服流行以來衆人ノ着用セシ綿糸莫
大^リ小^スノ縹緞ニ比スレハ其品位數ボノ上ニ居ル
カ故ニ大ニ愛用ヲ得ルナリ

諸種毛布

一千八百七十五年ニ取引アリタルモノハカ
ム^ラツ[、]ゴ^ルベ^{ット}、^コア^ンシ^ース[、]ゴ^ルベ^{ット}、^トラ^ルレ^ンス[、]ロ

羅
高
ス

ングエルス[」]及[」]其他ノ毛布ニレテ其價八十七
万四千三百二十五元ナリ但レ一千八百七十四
年ノ取引高ハ九十五万三千二百三十二元ナリ

ケ[」]ト

該品ノ取引高ハ一千八百七十四年ニ於テハ三
万一千對ナレバ一千八百七十五年ニ至リテハ
僅カニ一万四千三百九十八對ニ下レリ斯ノ當
地方ニ於テ此品ノ需要大ニ衰減セシ所以ハ一
般日本全國ノ貿易不景氣ニ至リ且ツ軍用ニ充ツ

ルモノ、取引定約ハ現今悉ク東京ニ於テナス
ヲ以テノ故ナリ○取引ハ年中甚ク不景氣ニシ
テ其價ノ低キヲ輸入人ニ多少ノ損失ヲ蒙ル
レノタリ

金屬

一千八百七十五年ノ錢ノ取引高ハ殆ト七十四
年ニ異ナラス即チ四百十四万二千三百斤ナリ
キ然レハ其代價ニ至リテハ大ニ減少レタリ一
千八百七十四年ニ於テハ洋銀二十万四千七百
三十七元ナリレカ一千八百七十五年ニ於テハ

洋銀十七万〇百四十二元ナリ斯ノ價額ニ減少
ヲ生セシ所以ハ一部分ハ一般物價ノ下落ニ基
ツキ一部分ハ取引高ノ多量ノ^{棒鍊アリ}レニ回
ルナリ^{棒鍊ハ其}釘鉄ノ要亦者ハ例ノ如ク多カ
リレカ^{棒鍊モ亦}其輸入少ナカラサリレ各種ノ
鉄トモ年末ニ向ツテハ其代價著シク下落シタ
リ鉛、鋼、鉄及ニ其他ノ金屬ハ其取引高極メテ僅
少ニシテ故ナラニ爰ニ^{奉ルニ}足ラス○近頃
日本南方諸地ノ鑛山ヨリ最上質ノ鉄ヲ産出し
現ニ大阪ニ於テ取引ナリタルモノ多量ナリ

若レ其鉄質ノ美良ナルヲ世上一般ノ知ル所ト
ナルニ至ラハ其取引高ハ英國産ノ鉄ニ超過ス
ルニ至ルヤ必セリ

砂糖

該品ノ取引ハ大ニ衰ヘ一千八百七十四年ニ於
テハ五百五十五万斤ナリシカ一千八百七十五
年ニ至リテハ四百二十九万三千四百斤ニ減シ
タリ○台湾産砂糖ノ大ニ要求アリシハ八九十
ノ三ヶ月間ナリシカ其後ハ諸方ヨリ陸續ト多
量ノ輸入(就中薩摩産ハ例年ニ於ケルカ如ク多

量ノ供給アリタリ)アリシヲ以テ其市價大ニ衰
ヘタリ

棉花

又那産棉花ノ取引高ハ一千八百七十五年ニ於
テハ四十九万五千八百斤ニシテ一千八百七十
四年ニ於テハ百七十四万斤ナリキ○十一月ニ
至リテ又那ニ於テ棉花凶作トノ報知到達セシ
ヨリ高買皆ナ目ヲ日本産棉花ニ注クニ至リ是
レカ為メニ又那産棉花ノ取引約定高ハ僅カニ
六十万斤ニ止マリタリ(其代價ハ百斤ニ付キ洋

羅
高
ラ

銀十九元乃至二十三元ナリ然ルニ支那ニ於テ
棉花ノ收穫ニ多少害アリタルハ臆測セレカ如
ク太甚シカラスレテ上海市場ノ價格モ前顯ノ
相庭ヨリ上ニ騰ラサリレ是ヲ以テ考フレハ日
本ノ需求ニ充ツルニ足ル丈ケノ棉花ノ支那國
内ニ充分存在スルヤ知ルヘシ然レハ日本一般
ノ棉花收穫モ甚ク豊カナリシカハ前年ノ如ク
多量ノ棉花供給ヲ支那ニ仰クコトヲ要セサリレ
是レ本年棉花輸入高ノ少量ナル所以ナリ

豌豆

一千八百七十五年中ニ支那ヨリ輸入セシ此品
ノ高ハ三百七十六万四千四百斤ノ多量ニ及ハ

石炭油

此品ノ貿易ハ方今頗ル緊要ノ地位ニ上レリ一
千八百七十四年ニハ其取引高ニ万八千三百罐
ナリシカ一千八百七十五年ニ至ラハ漸ク増加
レテ七万三千八百七十二罐ノ多キニ至レリ然
レハ其代價ノ如キハ之レヲ前年ニ比スレハ非
常ニ下落シ就中五月以降ハ尤モ甚クレノ年末

羅
高
ラ

ニ至リテハ一籩ニ付キ洋銀二元三十セト乃
 至二元五十セトニシテ之レヲ一千八百七十
 四年ノ平均相庭ニ比スレハ一籩ニ付キ一元ノ
 下落ナリキ○近頃日本人時々商標ヲ印セル空
 籩ヲ買入レ日本産ノ下オ石炭油ヲ充テ真正ノ
 品ト偽称レテ街賣スルノ弊アルトテ訴フルモ
 ノアリ此弊ヤ獨リ真正品ノ貿易ニ障碍ヲ與フ
 ルノミナラス之レカ為メニ粗漏無心ノ消費者
 ラレテ大危險ニ陥ラレムルト蓋シ甚ク多カラ
 シ

米穀

一千八百七十五年ニハ日本産米穀ノ價甚ク騰
 貴センヲ以テカイゴン米少量ヲ輸入レクルモ
 ノアリタリ然レモ其見込ハ中ラサリシ

雜貨

雜貨中繪具ノ取引代價洋銀六万三千三百七十五
 元ナラシメテ代價十六万三千〇二十元ナリキ
 而シテ機械、西洋ニ於テ裁縫セシ洋服、藥種及
 其他ノ雜貨輸入ノ上ニテ外國人ニ賣捌キタル
 モノ、代價洋銀八十七万四千三百二十七元ナ

羅	高	ラ
---	---	---

リ但レ鐵道局、造幣局及ヒ其他政府ノ製作用ノ
 為ニ輸入セシ機械其他ノ物品ハ右計筭ノ外
 ニシテ其代價モ亦巨額ナリ
 武器ハ近年ニ至リテハ輸入品目中絶ヘテ見ヘ
 ス○西洋ニ於テ裁縫セシ洋服ノ需要モ亦一般
 ニ減少レ而シテ近頃ニ至リテハ縐紗、股引、チノ
 如キ品ノ價ハ終カニ仕入レ原價ノ上ニ出ルヲ
 得ルノ三十ナリキ
 前年多量ニ輸入セシ所ノ物品即チ軍靴、蝙蝠傘
 等ノ如キハ方今大坂ニ於テ多ク製造ニ從事セ

輸出ノ部

一千八百七十五年輸出物價格ノ總計ハ貨幣ヲ
 除キ洋銀三百〇九万二千四百〇五元ニシテ一
 千八百七十四年ニ於テハ洋銀五百七十五万千
 百五十五元ナリキ此兩年ノ總價格ヲ對比スル
 氏ハ一千八百七十五年ノ價格ノ一千八百七十
 四年ニ及ハサルヲ洋銀二百六十五万八千七百
 五十元ノ多キヲ現示ス則チ一千八百七十四年
 ニ於テ得タル所ノ價格ノ増加ハ一千八百七十

羅
 一
 羅
 高
 一
 一

五年ニ至リテ之レヲ失ヘリ斯リ巨大ノ減額ヲ
生セレ所以ノモノハ蓋シ茶價ノ下落米穀輸出
ノ禁止加フルニ諸種物産輸出ノ不景氣ニ至リシ
ヲ以テナリ

茶

一千八百七十五年ノ輸出高ハ七百六十四万九
千〇二十封度ニレテ一千八百七十四年ノ高ハ
七百〇九万千六百六十五封度ナリ其量數ノ如キ
ハ本年ノ量稍々昨年ニ超過スト茲氏其代價ニ
至リテハ相庭ノ下落セシニ曰リ其減差洋銀八

羅
一
羅
高
一

十五万六千九百二十一元ニ至レリ右斤量ノ内
一万〇〇五十封度ハ竜動ハ一万六千二百封度
ハ加奈陀ハ六百十二万九千〇三十封度ハ直子
ニ合衆國ハ輸出シ而レテ百四十八万三千七百
四十封度ハ横濱ニ積送レリ是レニ由テ觀レハ直
接ニ外國一向ケ輸出セシ量ハ一千八百七十四
年ニ比スレハ其數少ナキカ如シト茲氏當地ニ
於テ精製ノ上横濱ニ積送リタルモノ多量ナレ
ハ想フニ同港ノ輸出表中ニハ必ス之レヲ包含
セルナラン而シテ其之レヲ同港ニ積送ル所以ハ

羅
羅
羅
羅

輸出者ノ都合ニシテ曰港ニ於テ領事館ヨリハ
 シウオイス^即タル^ナ領事館ノ送状ヲ領收スルノ
 便利ヲ得レハナリ右ノ外日本商賈カ横濱市場
 ニ於テ賣捌カント欲シテ曰港一積送リタルモ
 ノモ亦多量ナリ是ガノ量數ハ實ニ幾許ナルヤ
 知ルヘカラス是故ニ當地方ノ産出高實計ハ此
 輸出表中ニ揭示スル所ノモノヨリ遙カニ多量
 ナルハ推シテ知ルヘキナリ
 一千八百七十五年ノ初季ニ在リテハ茶ノ貿易
 非常ニ不景氣ノ狀況ヲ現ハセリ然ル所以ハ供

給ノ茶ノ品質需要者ノ望ニ満ルニ足ラサル
 ノミナラス賣者カ非常ノ高價ヲ貪ラント欲レ
 タルカ故ナリ五月十日ニ至リテ新茶始メテ市
 場ニ現出レ初時ニ在テハ供給高ニ限リアリレ
 ラ以テ其價ハ前日ノ相庭ヨリ洋銀二元又ケ騰
 貴シタリ然リト雖氏漸々着荷ノ増加スルニ隨
 ヒ旬日ナラスシテ其代價頓ニ下落セリ而シテ
 六月九月及ヒ十二月初旬ニ於テハ一時ツ、稍
 景氣ヲ復センコトアリレト雖氏察シテ年ヲ終
 ルマテ下落勝キナリキ而シテ其下落ノ極点之

羅
高
ラ

レヲ一千八百七十四年ノ四季ノ相庭ニ比スレ
ハ百斤ニ付キ洋銀九元ノ減價ニ止マレリ然レ
氏精撰ノ茶ハ斯ル一般ノ下落部内ニ加ハラ
シテ終年依然ト其價格ヲ動カサ、リレ○中ノ
上品茶ニ於ケル一年間相庭ノ浮沈ハ左表ノ如
シ

一千八百七十四高年ニ跨ル茶ノ相庭
一月 百斤ニ付キ洋銀三十五元乃至三十七元
二月 同 洋銀三十五元乃至三十八元
三月 同 洋銀三十四元乃至三十六元

四月
一千八百七十五高年ニ跨ル茶ノ相庭
五月 百斤ニ付キ洋銀三十五元乃至三十八元
六月 同 洋銀三十三元乃至三十六元
七月 同 洋銀三十二元乃至三十三元
八月 同 洋銀三十一元乃至三十二元
九月 同 洋銀三十一元乃至三十二元
十月 同 洋銀二十九元乃至三十一元
十一月 同 洋銀二十八元乃至三十元
十二月 同 洋銀二十七元乃至二十九元

羅	一	羅	高	一
---	---	---	---	---

一千八百七十五年七十六年ノ兩年ニ摘採セレ、
 茶ノ品合ハ前期ニ摘採セレ所ノモノト殆ト同
 一ニレテ中ボ下ボノ品ニ比スレハ上ボノ品居
 多ナリ然レ氏又右ニ比レテハ上ボ以上ノ精撰品
 ノ量甚タ寡ナリキ然ル所以ハ傭夫ノ賃銀騰
 貴シタルカ為メニ製茶師タルモノ細密丁寧ニ
 其摘採セレ所ノ茶葉ヲ撰別セレムルノ勞ヲ吝
 惜シタルカ故ナリ
 外國人ノ目撃スル如ク各地方ニ於テ茶樹ノ栽
 培頻々増殖スルカ故ニ一千八百七十六年ニ於

テハ其輸出ニ供スル数量必ス巨額ニ至ルヘキ
 ハ推テ知ルヘキナリ
 一千八百七十五年ニ於ケル茶葉摘採ノ高ハ之
 レヲ前数年ニ比スレハ其増加セルト二割以上
 ニ至レリ故ニ内地ニ蓄積スル所ノモノ必ス許
 多ナラン然レ氏外國人ノ付テ直段甚タ低賤ナ
 ルカ為メニ之レヲ市場ニ輸送シテ賣捌カント
 欲スルモノナシ外國人ノ直段ヲ付ケルニ斯ク
 低賤ナル所以ハ米國ニ於テ茶ノ景氣佳ナラス
 シテ其凶報屢々未着スルカ故ナリ

此ノ如ク代價下落シテ其景氣ヲ張ルヲ得サ
ルモノハ米合衆國ノ市場ニ於テ支那茶ト相競
争レテ其價ヲ求ムレハナリ而レテ當時ノ場合
ニ於テハ日本茶ノ景氣稍々佳ナリ其故ハ曩キ
ニ支那製緑茶ノ價甚々貴ク且ツ贋製ノモノ許
多ナリシニ因ルナリ

然レ氏今日ニ至ラハ然ラズ支那製緑茶モ亦日
本茶ノ如ク其價賤シケレハ日本産ノ茶非常ニ
多量ナルモ将来ノ結果如何ナルヤ之ヲ豫知ス
ルヲ甚々難シトス ○四ヶ年以來日本ヨリ輸出

羅
一
羅
高
ラ

スル所ノ茶ハ殆ト三分一ノ増額ニ至レリ然レ
氏米國ニ於テハ其代價漸々下落シテ四ヶ年前
ノ相庭ニ比スレハ賣上ケ代價ノ高ハ三分ノ二ニ下
レリ

日本ノ製茶師ハ代價下落ノ原ハ供給ノ需要ニ
超過スルニ因リ又呂柄ノ不良ナルヲ其多キニ
居レルヲ知ラスレテ漫リニ茶樹ヲ増殖レ多量
ノ茶ヲ製出シ(其培養法ハ勿論製造法ニモ注意
セスレテ)以テ代價ノ下落ヲ償ハント欲スルハ
尤モ考慮ノ誤過セルモノナリ後日必ス臍ヲ噬

ハモ及ハサルノ悔ヲ免レサルニ至ラレ今日ス
ラ且ソ猶ホ日本茶ノ製造甚ク粗悪且ツ其培養
ハ勿論摘採ニ至ルコテ其法ヲ失セリトノ誹議
頻リニ起ルノ時ナリ然ルニ是ニ着目セス徒ラ
ニ製出高ヲ増サントスルハ策ノ得タルモノニ
非ルナリ之レニ反レテ支那人ハ前年ノ價格ヲ
恢復セント欲シ大ニ其製法ゴニ励精尽カスル
カ故ニ綠茶ノ必ス日本茶ヲ壓倒スルニ至ラン
トハ衆目ノ視テ信スル所ナリ果レテ爰ニ至ラ
ハ日本ノ損害ノ大ナル實ニ測知スヘカラサル

ナラン

米穀

詠呂ハ一千八百七十四年ニ於テハ其輸出ノ代
價洋銀七十九万六千三百九十元ナリシカ一千
八百七十五年ノ輸出表中ニハ全ク見ル所ナシ
然ル所以ハ一千八百七十四年八月其輸出ヲ禁
止シ一千八百七十五年ノ四月ニ至リ之ヲ解弛
シタリト雖モ米價高貴ニシテ利益ナキカ故ニ
之レヲ輸出スルモノナカリキ亦後漸々下落ニ
赴キ十二月ニ至リテハ百斤ニ付洋銀二元三

羅
一
羅
高
ラ

十五セント以上迄ニ下レリ然レモ尚ホ高價ニレテ
輸出スルモ利益ナラサル程ナリシカ故ナリ
銅、青銅、其外

鉄、金屬輸出ノ衰ハタルト西三年以來特ニ著レ
ク一千八百七十五年ニハ百十八万七千八百斤、
一千八百七十四年ニハ百七十五万三千二百斤、
一千八百七十三年ニハ二百四十四万二千八百
斤ナリキ○日本政府ハ外國人カ銅、鑛、開鑿ノ業
ニ資本ヲ給シ之ヲ助カスルヲ許可セス唯一二
ノ内國人其業ヲ専ラニスルヲ以テ機械ヲ整備セス

羅
羅
羅
羅
羅

隨テ其代價高貴ナルガ故ニ歐洲市場ノ要求ヲ
絶ナタリ是ヲ以テ過ル十二ヶ月間ハ僅カニ八
十セントノ高ヲ倫敦ニ向ケレノミニシテ此至ハ
總テ印度、支那ノ兩國ニ輸出シタリ但シ板鋼ノ
代價ハ漸々騰貴レ一月ニ於テハ百斤ニ付キ洋
銀二十三元二十五セントナリシカ十二月ニ至
テハ二十四元三十七セントニ上レリ○此貴重
ナル金屬ヲ採スルニ適當ノ機械ヲ以テセハ
其價自ラ相当ナルヲ得倫敦ニ向ケ多量ノ輸
出アルハ必然ナリ而レテ其品質最上ナレハ倫

羅
一
羅
高
ラ

敦ニ於テハ彼ノナリ^地産ノ最上品ヨリ一層
高價ナラシメテ是レ亦疑フヘカテサルナリ
青銅細工物

該品ハ現今甚ク拂底ニシテ輸出表中殆ト見ル
ナキニ至レリ青銅製大砲潰レ地金ノ如キモ亦
然リ

烟草

該品ノ輸出ハ漸々衰微レ一千八百七十五年ニ
於テハ僅カニ五十四万二千六百斤ニ減レタリ但
レ一千八百七十四年ニ於テハ九十六万四千九

百斤一千八百七十三年ニ於テハ百〇四万四千
斤一千八百七十二年ニ於テハ二百二十七万八
千斤ノ輸出ナリキ○余カ昨年ノ報告ニ掲載セ
ル如ク日本烟草産出者カ烟葉ヲ撰別シ或ハ曝乾
スルニ粗漏胡^コ乱^コニシテ適當ノ注意ヲ加ヘサル
ノ原由ヨリ輸出高ノ四分ノ三ハ輸送船裏ニ在
テ腐敗ニ属シ彼ノ一種ノ通言ヲナレタリコウ
ントリ^コガ^コノ^コジ^コ本國ニテ製造ノ不注意ノ状
態ニテ倫敦ニ到着セリ爰ニ痛惜セサルヘカラ
サルナリ日本烟草ハ素ト吸收質ヲ有マルカ

羅
高
ラ

故ニ他物ト調和レ之ヲ用ヒテ其功效アリトテ
 倫敦ニ於テ好評ヲ得完全ナル烟葉ハ一封度ニ
 付キ八円ニスル或ハ九円ニスルノ高價ニ賣捌ケル
 ナリ斯ク高價ニ賣捌ケルモ畢竟吸收質ヲ有ス
 ルニ因リ又腐敗ヲ招クモ斯ノ吸收質ヲ有スル
 ニ因ルナリ然ルカ故ニ腐敗ヲ未タサス完全ナ
 ル有様ニテ倫敦ニ到着シ難レ是ヲ以テ高價ハ
 此貿易ヲ常ニ必トシ難レトナレ着意スルモノ
 年ヲ逐テ漸々衰微スルニ至ルナリ○此品産出
 ノ幾許ヲ減シタルカユヘニ一千八百七十五年

ニ於テ大ニ其輸出高ヲ減少セレノナリ然レテ
 該品ニ培養ヲニ非常ノ注意ヲ加ヘサルモ自カ
 ラ繁茂スルモノナレハ必ス其産出者ニ大利益
 アルモノニシテ大ニ増殖セサルヘカラサルモ
 ノナリ何カ故ニ斯ノ如ク減少スルニ至ルヤ其
 理竟イニ解スヘカラサルナリ○一千八百七十
 五年ノ相庭ハ年ヲ終フルマテ不景氣ニシテ遂
 ニ川キ立ツニ至ラサリシモノハ供給品多クハ
 下ボナリシカ故ナリ尤モ百斤ニ付キ洋銀四元
 以下ニテ少シク取引トナリタルモノアリ又腐

敗セサル完全ノモノハ百斤ニ付キ洋銀六元乃
至八元ナリレ若シ其基ヲ除去レタルモノナル
氏ハ其價尚ホ一層上レリ

樟腦

一千八百七十五年ニ於ケル該品ノ輸出高ハ七
十八万〇四百斤ニレテ其内四十八万〇三百斤
ハ倫敦ニ向ケ積ミ送りタリ而レテ代價ハ百斤
ニ付キ洋銀十一元五十セントトナ至十三元ニテ
從カナリキ
既長物

羅	一	羅	一	羅	一	羅	一	羅	一
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

此ノ部類ニ属スルモノ、輸出ハ一千八百七十
五年ニ於テハ夥シク増加レテ其代價洋銀十七
万七千〇五十元ノ多キニ至レリ其内代價三万
六千九百九十元ノモノハ倫敦ニ向ケ十三万九千〇
五十九元九角ノモノハ米合衆國ニ向ケ積ミ送り
タリ〇輸出ニ充テン為シ現今頻リニ粗悪ノ陶
器及ヒ漆器ノ類ヲ製造スルノ頗ル盛大ナル有

様ナリ

扇子類

該品輸出高ノ許多ナルヲ實ニ驚ノヘキカ故ニ

故ナラニ令爰ニ一言ノ陳述ヲ要ス一千八百七
十五年ニ於テ兵庫大阪兩港ヨリ輸出セシ所ノ
扇子ハ其數凡ソ三百万本ニシテ其代價ハ洋銀
九萬元ナリキ之レヲ前年ニ比較スルニ夥レキ
増加ナリ然ル所以ハ米國ノラデルズヤニ於テ
獨立百年紀博覽會ヲ開場スルニ因ルモノ居多
ナリ
昨年輸出セシ所ノ扇子類ハ殆ト悉ク皆ナ米合
衆國ニ積送リタルニシテ英國ニモ積送リタル
此同地ニ於テハ其需要高ニ限リアリシ當今此

羅
一
羅
一
一
一
一

品ノ貿易ハ獨リ英米二國ニ限レルカ如シ知ラ
ズ自他ノ各國ニモ亦已ニ廣ク之レヲ賣捌カン
ナリ試ミシヤ否ヤヲ
米國ニ於テ此品ノ貿易ハ二三商會ノ手ニ在リ
テ殆ト其專賣ニ歸レ其代價ノ貴々談ニ三商會
ノ大利タルヤ必然ナリ然リト雖此ノ商買ハ
大ニ經驗慣熟ヲ要スルモノニシテ恰モ玩具物
ノ貿易ニ於ケルカ如ク僅々數人ノ高估ノ外ハ
之レニ着手シ商錫ヲ市場ニ競争シ能ハサルナ
リ

大坂ハ専ラ搦扇製造ニ従事スルノ地ニレテ該
品ノ輸出ハ殆ト獨リ此ノ地ヨリスルナリ而シ
テ其之レヲ製造スル先ツ大坂ニ於テ竹骨ヲ作
リ之レヲ京都ニ送リ此ノ地ニ於テ扇紙ヲ張リ
函圖ボノ粧飾ヲナシ仕上ケテナサレム其代價
ハ百本ニ付キ十二圓ヨリ三十圓マテノ差アリ
時有リテ之レヨリ高貴ノ價格ヲ占ムルナリ屢々
之レアリ然レモ大抵輸出ニ供スル所ノモノハ
下オ賤價ノ品ノミナリ○日本人ノ使用ニ供ス
ル所ノモノハ多クハ名古屋産ニレテ其代價ハ

羅
羅
羅

大坂ニ於テ輸出ニ供スル為メニ製造スル品ニ
比スレハ一層賤價ナレテ以テ恐ラクハ其製粗
惡脆弱ニシテ甚ク破損レ易カラシ
團扇ハ京都ニ於テ製造スル所ノモノ其品上オ
ニレテ普子ク日本上オ社会人士及ヒ幼稚輩其
他ノ愛用スル所ナリ其下オ品ノ如キハ伏水及
ヒ東京ニ於テ製造シ而シテ當地方ニ齎来ス○
左ニ掲載スル一篇ハ一千八百七十五年十一月
二十四日ノ兵庫新聞ヨリ採萃スル所ニレテ其
大意全ク日本搦扇製造ノ下ニ関スレハ之レヲ

茲ニ援川スルハ無用ノ贅事ニアラサルヘシ日
本ニ於テ搦扇ヲ製造スルニ諸製造ニ於ケルカ
如ク夫ノ所謂分業ノ主爰ナルモノ有テ存シ實際
ニ行ハレタルハ日既ニ久レソノ竹骨ヲ粗製
スルハ大阪及ヒ京都ノ住民各々自己ノ家ニ於
テ成ルノ後之レヲ職人ノ手ニ送付テ職人ハ
計畫者ノ指揮スル所ノ模形ニ從ヒ柄子ニ種々
ノ彫刻ヲナシ以テ之レヲ精製ス計畫者ハ又彫板
師ニ命シテ翌年ノ時季ニ於テ流行ニ適セント
豫想スル所ノ扇紙ノ圖畫模樣ヲ彫刻シシハ而

レテ彫刻竣成ノ上ハ更ニ彩色ニ注意シ且ツ搦
扇ノ表裏ヲ張ルニ如何ナル紙ヲ用フヘキヤニ
留心セサルヘカラサルナリ右ニ陳フル所ノ計
畫者ナルモノハ職人中特トニ緊要ノ地位ニ居
ルガ故ニ其給料モ亦随テ極メテ多額ナラサル
ヘカラス若レ之レニ給スルニ少額ヲ以テスル
ハハ自ラ尋常職人ノ勤勞ヲ執リ其練熟ノ伎倆
ヲ顯ハサハルニ至ルヲ以テ傭入レ主ニ不利ヲ
致ス下鮮少ナラサルヘレ○外國人ハ搦扇ヲ注
文レ之レニ畫カレハルニ國旗ノ圖店頭貨物陳

羅
羅
羅
羅
羅

羅
羅
羅
羅
羅

列ノ図或ハ商標ノ公告圖(例一ハ汽船間屋ナレ
ハ汽船ノ圖ヲ画カレムルノ類)及ヒ其他種々ノ
画圖ヲ以テセリ○楮テ搦扇ヲ張ルニハ先ツ西
面ヲ張ルニ用フル画圖ヲ印刷セル扇紙ト竹骨
トヲ張方職人ニ付レ職人ハ之レヲ受ケ第一ニ
ハ二葉ノ扇紙ヲ合付スルニ着手シ而レテ数折
ノ襷積ヲ付ス此ノ襷積ヲ付スルニハ厚キ油紙
ニ折目ヲ付レタル二葉ノ雛形紙ノ間ニ初ノニ
合付レ置キタル扇紙ヲ夾ミ其折目ニ從テ之レ
ヲ折リ襷積形ヲナレ四葉ノ紙ヲ其マ、一ニ重

歷シ十分ニ時間ヲ経ル後取出レ扇紙ノ今ハ
仍ホ少ナクモ二十四時間疊ミ置キ雛形ノ方ハ再
用ニ供ス第二次ニハ空間ニ糸ヲ引、漸次ニ懸
掛レ置キタル竹骨ヲ取り而レテ厚板上ニ開布
シタル扇紙ノ上ニ正シク之レヲ糊付レ更ニ一
葉ノ扇紙ヲ糊付レテ竣成ニ至ルナリ襷積ノ適
当ナル形ヲ成スニ至ルマテハ四五回モ竣成ノ
搦扇ヲ開閉セサルヘカラス又之レヲ乾カレム
ルノ氏ニモ手ニ觸ル、一數回ニ及フカ故ニ速
モ西洋紙ノ如キハ脆弱ニシテ其用ニ堪ヘサル

ヘレ右ニ陳ゲル西洋紙ノ扇紙ニ用ヒ難シトノ
説ハ素トヨリ我輩ノ臆想ナリ然ルニ搦扇職人
モ亦言ヘルヲアリ一度西洋紙ヲ用ヒタルトア
リタレ氏其用ニ適セサルヲ以テ之レヲ廢棄シ
タリ但シ米國製ノ模様紙ハ之レヲ試ミシニ兩
面トモニ用フルハ甚タ難シト虽氏細心注意セ
ハ片面ハ日本紙ヲ用ヒ其半面ニ之レヲ用フル
ハ得ヘカラサルニ非スト日本紙モ方今搦扇ニ用
フル所ノモノ其品質昔日ノ良好ナル扇紙ノ比
ニアラサレハ其製造ノ方法モ亦稍シ変更ヲナ

セリ

日本ノ未タ外交ヲ開カサル前ニ在リテハ搦扇
ノ最高價ナルモノモ一本ノ代價五円以上ニ上
ルハアラサリレカ外交ノ開ケテヨリ以來ハ注
文ニ依リ一本ノ代價洋銀十元乃至十五元程ノ
高價ノ品ヲモ製造レタルトアリ尋常ノ搦扇一
般ノ相庭ハ百本ニ付キ五十錢ヨリ十五円ノ間
ニ在リ尤モ別製高價ノ品ハ百本ニ付キ五十円
位ノモノアリ○昨年全ク米國博覧会ノ為メノ
ミニ輸出セン扇子ノ數ハ八十万本以上ニ達シ

其代價凡ソ洋銀五萬元ナリキ注日ニ在リテハ
搦扇ノ取引高各國ハ輸出ノモノヲ合算シテ一
周年内稀レニ一万本ノ数ニ上ルヲアルノミナ
リレカ去ル十二月間ニハ香港及ヒ横濱ヨリ
輸出ノ總數(博覽會行ノ分ヲ除キ)殆ト三百万本
ナリキ但レ東京製ノ搦扇ハ香港近傍ニ於テ製
スルモノニ比スレハ其凡容ノ雅美ナルヲ數ギ
ノ上ニ在リ且ツ其價錢モ亦數ギノ上ニ在リト
ス
右ニ陳述スル所ノモノハ獨リ搦扇ニ関レテ演

説スルモノナリ

寒天

該品ノ貿易ハ專ラ支那人ノ取引ニ属ス一千八
百七十四年ニ於ケル取引高ハ二十二万八千六
百斤ニシテ其代價洋銀七万五千二百十二元十
リレカ一千八百七十五年ニ於テハ其高六十二
万三千八百斤ニシテ其代價洋銀十九万八千四
百十六元ノ多キニ増進レタリ但レ此ノ品ノ輸
出ハ悉ク上海及ヒ香港ノ地ニ向ケ積ミ送レリ
昆布

羅
羅
羅
羅
羅

羅	羅	羅	羅	羅
---	---	---	---	---

該品ノ取引モ亦重モニ支那人ノ手ニ在リ而レ
 テ一千八百七十四年ニハ其輸出高六百三十五
 万六千五百斤ナリレカ一千八百七十五年ニ至
 リテハ其高三百〇八万二千百斤ニ減少シタリ
 斯ノ如ク減少セレ所以ハ上海市場ニ於テ其相
 庭ノ大ニ下落セレニ根スルナリ

木蠟

該品ノ輸出高ハ市價ノ低賤ナルカ為メニ稍々
 増加シ一千八百七十四年ニ於テハ其高七十四
 万斤ナリレカ一千八百七十五年ニ至リテハ

百万五千斤ニ上レリ但シ一月間初ノ市場相庭
 ハ百斤ニ付キ洋銀十一元五十七セントナリ
 斯ク相庭低賤ナルカハ利益少ナキヲ以テ自ラ之
 レヲ製出スルモノナク品拂底トナリ随テ其相
 庭騰貴セサルヘカテサルニ却テ益々下落ニ赴
 キ取引直殺百斤ニ付キ洋銀十元乃至九元ニテ
 ニ下リ十二月ニ至リテ更ニ又下落シテ洋銀八
 元五十七セントマテニ下リタリ然リト雖氏往年
 該品ノ高價ナリシトアリレカ為メニ消費者ヲ
 レテ之レニ代エルニ石腦油及々其他賤價ノモ

ノヲ用フルニ至ラシメシカ故ニ西三年以来倫
敦ニ於テ其消費高大ニ減少シタレハ縦ニ前頭
ノ如キ賤價ヲ以テ輸出スルモ積ニ送り人ハ猶
ホ一戈ノ利益ヲモ得サルナラン○木蠟ノ飛ハ
從來ハ半円飛ニ作りシモノナレハ當令ニ至リ
テハ之レヲ角飛ニ改メタリ斯ク改メレ所以ハ
積ニ送りノ際大ニ其面積ヲ小ニシ其運賃ヲ減
少スルガ故ナリ

右ニ條陳次列セシ所ノ貨物ノ外ニ輸出セシモ
ノハ屑茶八万〇二百斤其代價洋銀三万一千三百

羅	ノ	羅	精	ラ
---	---	---	---	---

六十元半二千七百五十五頭其代價洋銀六万五
千九百七十二元ナリ又支那人ノ買取リタル諸
雜貨ノ中ニ於テ最モ著シク多量ナルモノハ推
茸及ヒ煎海鼠ニシテ推茸ノ代價ハ洋銀六万九
千百六十六元煎海鼠ノ代價ハ洋銀三万〇百五
十元ナリキ

當地方ヨリ外國一ノ輸出貿易ニ於ケル價額ノ
斯ク大ニ衰減ニ至リタルハ地方官吏ノ最モ
注目センナラ要スル所ナリ何トナレハ其租稅
收入ノ増減ニ関涉スルノミナラヌ地方人民繁

榮ノ進路ニ妨碍ヲ生スレハナリ既ニ当地方ニ
於テハ外國品購求ノ力大ニ衰減ニ至レリ今日
ニ在リテ其商況速ニ復歸セサレハ漸々衰微レ
察察索寞目スヘカラサルノ状ニ至ルハ必然ナ
リ然ルニ此國ノ物産中就中樟腦、銅、烟州、木蠟、
如キハ歐羅巴洲ノ互市場ニ於テ常ニ其取引回
断アルトナレ何ノ故ヲ以テ此品類ノ景氣ヲ漲
リ大ニ其輸出ヲ増加スルニ至ラサルヤ又日本
人ハ何ノ故ニ數百坪ノ地ヲ徒ニ荒蕪ニ委レ之
レヨリ毫モ國益ヲ產生セシムルトナキヤ是レ

我輩ノ千思万考スルモ其解ヲ得難キニ苦レム
可ナリ

外國船出入港

一千八百七十五年中兵庫港出入外國船舶ノ數
左ノ如シ

英國船出入合計九艘其積入噸數八万六千五百
八十二噸之ヲ前年ニ比スレハ二十四艘ト七千六
百七十二噸ヲ減レタリ

米國船出入合計(郵便船ヲモ算入シ)百九十四艘
其積入噸數十七万九千四百六十八噸之レヲ前

羅
ノ
羅
精
ノ
ノ
ノ

羅
ノ
羅
高
ヲ

年ニ比スレハ其減數寡少ニレテ僅ニ二艘トキ
 〇〇五噸トキ
 日身曼船出入合計二十四艘其積入噸數五千四
 百六十噸之レヲ前年ニ比スレハ其減數二十艘
 ト一万〇百七十二噸
 佛國船出入合計二艘其積入噸數五百二十噸
 右總計三百三十五艘積入噸數四十五萬三千九
 百五十八噸又ヲ前年ニ比スレハ其減數四十四
 艘ト一万八千六百八十二噸トキ但レ前年ニ
 於テハ米國邦便船一週日間ニ兩度ノ出入港ア

リレガニヘニ其積入噸數モ亦巨大ナリシナリ
 該邦便船ハ當今悉ク日本ニ属シ其國旗ヲ掲ケ
 出入港頭ル其規定ニ合レ何レモ外國人其船長
 トナリテ之レヲ指揮セリ
 英國船ノ當港ヨリ荷物ヲ積入レ直チニ本國一
 向ケ出帆セシ數三艘又茶ヲ積入レ直チニ米國
 紐育一方向ケ出帆セシ數一艘トキ
 當港ニ於テ外國貿易ノ衰微セシハ過ル一千八
 百七十五年ノ十二月間ニ於ケル出入船舶ノ
 噸數ヲ觀テ之レヲ知ルニ足レリ然リト雖モ左

ノ事由ニモ亦注目セサルヘカラス一千八百六十八年以來横濱上海兩港ノ間ヲ駛走往復セシ大平海邦便會社ノ船舶過ル十月ニ至リテ該社ヨリ日本三菱汽船會社ニ賣渡セシテ以テ其屬スル所ヲ異ニシ三菱會社ノ名号ヲ以テ日本國旗ヲ掲ケタルカ故ニ該船舶ノ當港出入ハ依然トシテ旧ノ如クナレ氏前頭ノ外國船舶出入港表中ニハ之レヲ添キ其積入レ噸數ヲ記載セサルナリ)

當港ヨリ荷物ヲ搭載シ外國ニ向ケ出帆セシ船

船ノ數甚ク僅些ナルヲ以テ随テ其運賃モ亦減シ帆前船ニテ米國紐育マテノ運賃四十フリト一噸ニ付キ五十五フリリングゴヨリ三十五フリリング英國倫敦マテノ運賃五十フリト一噸ニ付キ七十フリリングゴヨリ五十フリリングマデニ下落レタリ去レ氏長崎港ヨリ横濱マデノ石炭運賃ハ噸ニシテ一噸ニ付キ洋銀二元ニテアリシ

通賃

一千八百七十五年二月ヨリ十二月ニ至ルマテ

羅	一	羅	高	一	一	一
---	---	---	---	---	---	---

羅
一
羅
終
ラ
ム

ノ間ニ大坂造幣局ニ於テ鑄造セシ貨幣ノ數額
及ヒ其名号左ノ如シ

五円金貨 十七万五千枚
九百位一円銀 十一万五千枚
質易銀 九万七千枚

補助貨幣

二十弋銀 二十九万六千枚
十弋銀 八百九十七万七千枚
五弋銀 五百六十七万五千枚
二弋銀 二千二百二十八万六千枚
一錢貨 二千九百八十一万四千枚

銅貨

半錢貨 千五百三十万五千枚
一厘貨 三百〇三万八千枚

鑄造高總計 八千五百七十七万八千枚
此價額 三百十五万七千〇七十三元

右ノ數額ニ加フルニ二月中ノ鑄造高ヲ以テセ
バ一千八百七十五年中ニ大坂造幣局ニ於テ鑄
造セシ所ノ貨幣ハ殆ト一億枚ニ及ヘリ
二月ニ於テハ金貨ノ減價百分ノ三十八分ノ三
十リレカニ漸々騰貴シテ七月ニ至リテハ其減
價百分ノ一ニ至リ爾後ハ僅些ノ昂低ハアリタ

レ氏)依然トレテ年ヲ終フルコテ動カサリレ
 日身曼國ニ於テ從未通貨ノ本位ハ銀貨ナリレ
 ヲ変更レテ金貨トナセレトノ影響日本貨幣ノ
 價格ニ及ホシ夥多ノ金ヲ歐羅巴ニ積戻スハ必
 然ナルヘシ
 当港一輸入セル物品ノ代物ヲ送ルニ倫敦ヘノ
 為換年中其都合甚ク良ナラヌレテ一月ニ於テ
 ハ六ヶ月期限拂ヒノ為換手取洋銀一元ニ付キ
 英金四ロリリンゴニハ四分ノ一替ヘナ
 リレカ七月ニ於テハ四ロリリンゴ一ロリニ替

羅
 羅
 羅
 羅

ヘコダニ下落レ年末ニ至ルコテ依然ト此相庭
 ヲ保持レタリ
 左ニ論述スル所ノ三要点ハ現今日本ノ貨幣ノ
 景況ヲ示スモノニレテ其裨益スル所アル蓋シ
 鮮クナラサルヘシ
 第一 英國ニ於テ為換相庭ノ低下ナルト
 第二 日本金貨ノ當國五市場ニ流通スルモ
 ノ拂底ナルト
 第三 大坂造幣局ニ於テ鑄造スル金貨ノ高
 減少ノ原因

第一 日本と英國との兩國間ノ為換相庭下落
ノ因テ起ル所以ノモノハ現今米國引ワダ及ヒ
カルフォルニヤ西州ノ礦山ヨリ産出スル所ノ銀
量ノ巨額ナルト日身曼政府ニ於テ近頃貨幣ノ
制度ヲ改革(從來ノ銀貨本位ヲ改メテ金貨本位
ト為レタルヲ云フ)セルトニ籍ルナリ是ヲ以テ
銀ノ巨額ヲ要スル所ノ互市場ハ東印度、イッ新嘉坡、北文那及ヒ日本オノ數國ニ過キ
ス而レテ現今是レオノ互市場ニ輻湊スル所ノ
銀量ソノ實際流通上ニ要スル所ノ量ニ超過ス

ルヲ以テ其價格自ラ下落レ随テ為換相庭ニモ
影響ヲ致スナリ

第二 日本金貨ノ流通上ニ在ルモノ大ニ拂底
ニ至リレ所以ノモノハ全世界ノ銀ノ供給ヲ以
テ金ノ供給ニ比較スレハ銀ノ供給大ニ超過セ
ルカ故ニ金ノ需要自ラ許多ナリ然ルニ日本ニ
於テハ政府ヨリ金銀ニ一定ノ價格ヲ制立スル
ヲ以テ外國人賤價ノ銀或ハ産物ヲ輸入シテ日
本ノ産物ト金トニ交換ス蓋シ金ヲ以テスルモ
ハ輸出貿易價格ノ不足ヲ補フ為メナリ

羅
羅
羅
羅
羅

日本ニ於テ輸入物ノ代價並ニ雇ヒ外國人ノ給料ノ為ニ拵出ス所ノ金額ハ輸出物ノ代價ニ比スレバ其高夥多ナルカ故ニ内國ヨリ金ノ流出ヲ致レ回テ金貨拂底ニ至ルナリ○日本政府ガ新貨鑄造ノ業ヲ創始スルノ際貨幣本位ノ一ニ付テ該政府ニ忠告セリトアリタレバ該政府ハ之レヲ排斥シテ容レズ頻リニ兩本位(金銀貨兩種トモ合法貨幣トナレ其比較ノ定價ヲ立ツルヲ云フ)トナサントテ主張セリ諸國一般ニ銀價下落スルキハ日本ニ於テ金銀ノ價格權

衡ヲ得ル能ハスレテ自ラ金ノ外國ニ流出セリトハ曩キニ忠告者カ單本位ナラントテ勸諭セシ時既ニ洞察セシ所ナリキ若レ日本貨幣ノ本位ヲ銀ニレ計筭上ニ用フル合法貨幣ヲ銀円ナラシメハ當今新嘉坡、廣東及福建ノ地方ニ於テ公然流通スル所ノ日本銀円ハ其品位ノ純良、鑄造ノ精巧及ヒ彫鑿セシ文字ノ過半又那文字ナルノ故ヲ以テ早晚必ス支那全國ノ流通貨幣トナラント疑フヘカラサルナリ然リ而シテ斯クノ如キ氏ハ金貨ハ銀貨ノ

羅
ノ
羅
終
ノ
ノ

補助貨幣タルノミニレテ其價格ハ相庭ニ随テ
昂低スルカ故ニ交換ノ價自ラ眞實ニ歸着レ流
通價格ヲ以テスルニ非サレハ決レテ國內ヲ去
ルヲアラサレヘレ

第三 大坂造幣局ニ於テ鑄造スル金貨ノ高減
少ノ原因ハ之レヲ左ニ論述ス

造幣局創業以來兩三年ノ間ハ大判、二分金其他
ノ旧金貨ヲ新金圓ニ改鑄セルト桑港ヨリ金塊
ヲ多量ニ輸入セルトニ目テ該局ノ鑄造事業甚ク
繁劇且ツ計表上ニ掲示セレ所ノ新鑄金貨ノ數

モ亦甚ク巨額ナリキ

現今ニ至リテハ旧金貨ノ新金圓ニ改鑄スヘキ
モノ殆ト竭尽レ且ツ外國ヨリ槓金ノ輸入モ全
ク絶止ニ至レルヲ以テ獨リ内國礦山ヨリ産出
スル金ノ供給ノミ以テ之レヲ鑄造スルノ他更
ニ術アルナレ然ルニ内國礦山ノ金産出高ハ甚
ク少許ナリ

蒸気車

神戸大阪ノ間及ヒ大阪停車場ヨリ安沼川ニ至
ルノ間ヲ運轉スル所ノ蒸気車ハ規則正レクシ

テ過失アリシトナク連綿ト往復セリ(総里程ニ
十ヨイユヤリ)
一千八百七十五年一周年間ニ往復乗車人員百
〇六万七千八百六十八名、乗車賃二十三万五千
百〇九円、乗客携帶行李運賃六千九百四十六円、
高賣荷物運賃九千八百円、其量目千六百六十一万
七千百斤、古賃銀収入高總計二十五万八千八百五
十五円
大阪ヨリ西京ニ至ル間ノ蒸氣車線路ハ其長サ
凡ソ二十七ヨイユニシテ其築造日ヲ逐フテ竣

工ニ就クノ状ヲ聞知ス此線路ヲ横キリ流ル、
所ノ大河数条アリ其一ハ長サ千三百「フ」上ノ
鉄橋架渡ヲ要シ他ノ河流ハ鉄道ノ平面線ヨリ
殆ト百「フ」上下ニアルモノアリ此ノ他ノ工事
モ總テ悉ク撿取リタレバ昨年余ガ豫想セレガ
如ク此ノ間ノ鉄道開業式ハ未ル秋初ノ候ニ執
行セラル、ハ疑フヘカラサルナリ
西京以外ノ鉄道築造ハ未ダ着手ニ至ラズト虽
且内地ノ測量ニ従事スルヲ以テ觀レハ西京ヨ
リ東京ニ達スルノ大線路ニ敷キ而レテ更ニ支

羅
ノ
ノ
ノ
ノ
ノ

線ヲ以テ新瀉ニ及ホサントスルノ企ハ既ニ決
定セルト判然タリ

鑛山

神戶港ヲ距ル^ト凡ソ六十^トイ^ルノ地ニ在ル但
馬ノ國生野鑛山ノ銀坑ハソノ業連綿トレテ利
益アリ現今産出高ノ價額ハ一ヶ月凡ソ洋銀三
萬元ニレテ其得ル所ノ純益ハ右價額ノ六割ト
豫算セラル而レテ之レニ從事スル所ノ坑夫ノ
數ハ内國人凡ソ一千人佛人^{イ^ンヂ^ンガ^ニシ^テ長^ト}
ナリテ之レヲ督シ又佛人ノ鑛山師九名アリテ

羅
ノ
羅
高
ヲ
ス

之レカ補助ヲナセリ今ヨリ更ニ四五年ヲ經過
セバ必ス該鑛山ヨリ最上質ノ銅一日二百噸即
チ代價ニ積リテ凡ソ洋銀七百元丈ケテ産出セ
ン^トヲ望ミ^テ屬セリ

生野鑛山ノ外國人ノ監督ニ因テ慥カニ利益ア
ルヲ觀レハ若レ外國人ヲレテ日本諸鑛山開採
ノ業ニ從事スルヲ得セシメハ極ノテ該國ノ豊
富ナル鑛山ノ業ヲ盛大ニシ其潤沢及ヒ一般ノ
繁榮幸福モ亦果レテ期スヘキニ至ラン
日本政府ノ頑然トレテ仍ホ勝味ナル政略ニ執

送レ金銀銅其他ノ諸鑛山(一二ノ鑛山ヲ除クノ
外ハ)ニ外國人ノ手ヲ措クヲ禁止スルハ實ニ痛
歎ニ堪ヘサルナリ此ノ一富國土ヲレテ空レク
貧困ニ陥ラシメントスルモ亦勝昧政略ノ致ス
所ニ因ルモノ多キニ居レリ

一般ノ景況

神戸港外國人居留地ノ東方ニ開設セシ遊園(談
園開設ノ了ニ付テハ日本政府ニ於テ數年間種
々ノ故障アリタリ)ハ去ル八月ニ於テ外國人居
留地行事ノ管轄スル所トナリ内外人民ノ共有

羅
ノ
羅
高
ヲ

ニ決レ現今頻リニ佳趣ヲ添ヘシ為メニ手入レ
ラナシ且ツ一區ノ地ヲ畫シ結縷^レ州ヲ植ヘ土ヲ
覆ヒ檯球場トレ又処々ニ草花ヲ移栽セリ
日本人設立ノ製紙社ノ建物オノ了ハ余カ昨年
ノ報告中ニ記載セシガ其築造事業ノ迅速ナル
現今殆ト落成ニ垂シタリ而レテ爛布及ヒ其他
ソモノヲ歐米各國ニ於テ製紙ニ用フルボルガ
爛布ヲ蒸熱シテ軟塊トナシニ化製スルノ業ニ着
手スルハ將ヤニ近キニ在ラントス
官用ノ建物ノ如キハ新築獄舎ヲ除クノ外ハ一

千八百七十五年ニ於テ一ノ建築ニ從事スルヲ
見ガリシニ設新築獄舎ハ之レヲ前日ノ狹隘ナル
獄舎ニ比スレバ大ニシテ且ツ堅固ナリ然レモ
時アリテ囚人充墮レ猶ホ健康ヲ害スルアルヲ
免カレス
従前ヨリ罪人ノ死骸ヲ埋却レ未レル塚坑ハ既
ニ充滿シテ餘隙ナケレハ現今ハ日本一般ノ慣
習ニ従ヒ悉ク之レヲ地中ニ埋却ス○絞斬ノ刑
辟ハ今日ニ於テハ悉ク獄舎ノ境内ニ於テ執行
セリ

外國人居留地ノ東西兩所ニ新ク各一ノ所ノ
狹小ナル船塢ニ場ヲ開設セリ而シテ其深サノ
十分ナルヲ潮汐ノ干満ニ係ハラス貨船ヲ容ル
ニ差支ナキ程ナリ

兵庫在留英國人負ハ小兒ヲ除キテ一千八百七
十五年十二月三十一日ニ於テハ百六十三人ナ
リ之レヲ一千八百七十四年ニ比スレバ三十二
人ヲ減セリ

大阪ノ景况

此ノ地ノ外國貿易ハ漸々衰微レ現今ニ至リテ

羅
ノ
羅
高
ノ
ノ

羅
ノ
羅
高
ノ
ノ

ハ最モ大甚シク余ハ其狀況ヲ爰ニ記載レテ報
告スルニ忍ビサル程ナリ

兵庫大坂兩港間ノ鐵道開設以來外國ニ係ル貿
易ハ專ラ兵庫港ニ收縮セレテ以テ従前大坂港
在留ノ外國商賈ハ殆ト數ヲ尽クシテ兵庫港ニ
移轉レタリ然レモ該地ノ内國商人ノ取引ハ外
國貿易ノ大ニ衰微セルニ係ハラス依然トシテ
繁昌ナル狀況アリ然ル所以ハ日本人所有ノ蒸
氣船殆ト日トシテ大坂港ヲ出入セサルナケレ
バナリ蓋シ是レオノ船舶ハ常ニ日本産物ヲ搭

載シテ大坂ト内海ノ間ヲ往復シ又外國品ヲ横
濱ニ於テ買入レ而シテ之レヲ輸送シ来ルモノ
ナリ

大坂港ニ於ケル外國貿易ハ現今殆ト其取引絶
止ニ至リタルカ故ニ余ハ外國人カ取引シタル
日本産物ノ品目ヲ枚舉スルニ甚ク苦惱シタリ
然レモ今爰ニ大坂港外國貿易ノ取引高ヲ畧舉セ
シ一千八百七十五年内ニ英國及ヒ其他各國ヨ
リ輸入セル物質ノ總價額ハ洋銀六十五萬五千五
百十元ニシテ之レヲ一千八百七十四年ノ取引

高ニ比スレハ増加セリ然レ氏輸出ノ総額ハ一
千八百七十四年ニ於テハ洋銀五十万六千五
百三十七元ナリレガ一千八百七十五年ニ於テ
ハ僅ニ洋銀二十二万五千〇二十一元ノミナリ
キ

工業

一千八百七十四年ノ報告中ニ余ハ製紙機械ヲ
掲載シタリレカ今日ニ至リテハ已ニ簿手ノ紙
及ヒ包装紙ヲ製出シ盛ニ該業ニ従事セリ
砂糖製精所ハ利益ヲ得ルナク反テ損失ヲ来

羅
ノ
羅
高
ノ
ノ

スヲ以テ其業ヲ廃止シタリ
硝子製造所ハ其業頗ル盛ニシテ現今硝子壺硝
子火室硝子燈ヲ製造セリ然レ氏硝子板ノ如キ
ハ未タ製造レ能ハサルナリ
大阪ニ於テハ莫大ニ織出機械ノ使用甚ク盛ニ
シテ現今下縹絆下股引ヲ製造シ其價低クシテ
且ツ品質ノ美良ナル外國輸入品ハ之レト競争
レ能ハサル程ナリ然ルカ故ニ該品ヲ輸入スル
モ到底損失ヲ被ムルノミニシテ其得益アラサ
ルナリ

日本ニ於テ近年漂布法ニ熟達セレガ故ニ白金
 巾取引上ニ妨障ヲナスヲ鮮少ナラス
 大阪ニ於テ現今大ニ絹及ニ其他ノモノヲ以テ
 帽子類ヲ製造シ其價ノ低賤ナル舶来品ヲ壓倒
 スル程ナリ
 鉄ノ大阪ニ輸入セレ量甚夕巨大ニレテ其價賤
 ナレバ更ニ該品ヲ輸入スルニ他日損失ヲ被ム
 ルハ必然ナルヘレ
 一千八百七十五年二月大阪ニ於テ祝融氏千百
 十七戸ヲ一掃レテ灰燼トナセシ以來此災ニ罹

羅
 高
 工
 手
 入

リシ市街及ニ他ノ或ル市街モ道路ノ幅負ヲ廣
 潤ニセシヲ以テ大阪市街ノ過半ハ前日ニ比ス
 レバ一層ノ美ヲ増スニ至リタリ
 現今ニケ所ノ新橋建築中ナリ其一ハ外國人居
 留地ノ境界ニ架渡スルモノニシテ鉄材ト木材
 トヲ交用シテ建築セリ
 大阪市街ノ中央ニ建築セル一大廈ハ大阪上オ
 裁判所ナリ
 大阪在留ノ英國宣教師ハ日本人民教導ノ為ノ
 ニ一小堂ヲ外國人居留地内ニ建築セリ

余令筆ヲ摺クニ際シテ特ニ一言セサルヘカラ
 サル所ノモノアリ其事タル大坂在苗英國人民
 負數ノナリ一千八百七十四年ニ於テハ其人
 員五十名ナリシガ一千八百七十五年ニ至テハ
 二十四名ニ減少セリ此ノ二十四名ノ内モ外國
 人居苗地ニ常ニ住居セルモノハ僅カニ八名ニ
 シテ余ハ悉ク日本政府ノ為メニ鐵道造幣ノ兩
 局及ニ学校ニ雇ハル、モノナリ

代領事

エ、エ、エン子スリー 署名

兵庫及ニ大阪

羅脊板	112,814	29,613
ノラ子ル	35,832	11,769
羅紗	59,121	14,462
高耳羅紗	173,501	392,738
ラスネンク	7,715	311,563
	243,023	44,266

員ハ五員
 會

信 務 入 入 部 各 一 年 會 商 局 大 報 決

207 283 31 27

兵庫及大阪

(第一)一千八百七十五年十二月三十一日ニ終ル一周年間

兵庫港輸入貿易表
英國及他各國ヨリ輸入

(代價總計洋銀五百三十五万四千九百十七元)

木綿物 (代價總計洋銀 359,356 元)			弗
生金巾	碼	13700, 144	657,461
天鵞絨	"	564,898	132,159
唐棧	"	615,104	112,351
寒冷紗	"	1,116,256	95,388
赤金巾	"	929,660	67,092
木綿糸	ピル(百斤)	2,382	64,358
更紗	碼	940,971	54,841
綿織子	"	361,313	54,135
テーコローツ	"	424,417	24,852
ウクトリヤ、テونس	"	287,532	20,346
綾金巾	"	217,696	14,268
コットン、ダマスク	"	53,577	12,390
莫大小股引綿絆	打	269	7,211
木綿絢糸	斤	1,721	1,651
緋金巾	"
木綿製雜品	"	..	42,703
計			16359,236
毛織物 (代價總計洋銀 916,004 元)			
吳紹服	碼	112,814	29,613
羅脊板	"	39,832	11,769
フラ子ル	"	59,121	14,462
羅紗	"	1,735,501	392,738
縞耳羅紗	"	7,715	5,637
ラスチング	"	243,023	44,266

オルレンス	碼	973,767	175,452
モスレンデレーン	
ルストルス	
ブランゲット	封度	81,979	42,768
イタリヤン、コローツ	碼	61,795	15,367
旗布	
毛織雜品	碼	884,300	184,009
計		..	916,004
毛木綿交織物 (代價洋銀 874,367 元)			
毛木綿交織物	碼	435,690	870,367
金屬 (代價總計洋銀 333,437 元 但し 日本政府需用品代價 115,878 元 此内 鐵 571)			
鐵 (熟)	ピコル	39,143	148,263
鐵塊	"	31,824	41,177
鐵線	"	282	2,127
鐵器		..	117,897
鋼鉄		..	7,757
鋼鉄器		..	1,954
鉛塊	ピコル	421	3,114
錫	"	259	6,070
錫板	箱	265	1,745
スベルドル 及 並鉛	ピコル	245	1,811
青銅器		..	1,522
計		..	333,437
武器 (代價總計 2,056 元)		..	2,056

雜貨 (代價總計 112,753 元 但日本政府需用品)		
, 代價 225,030 元, 此, 内 = 籠 = レリ)		
帆木綿	碼	16,617
毛氈		2,991
セメント		3,755
卷烟草	ピコル	51,430
自鳴鐘		38
裁縫シタル衣服		4,871
菓子		8,388
麥酒葡萄酒及火酒	弗	2,518
麥酒及「ポルトル」		1,599
ブランデー酒		28,133
シャンパン酒		4,105
ジン酒		1,656
リキユール酒		1,671
セリー酒		1,088
ハウスキー酒		3,690
葡萄酒		1,104
計		2,424
牛酪		193,871
藥種		6,365
漆具		29,947
麥粉		38,143
家具		5,412
毛皮		3,819
		5,548

ギンハムス			1,957
硝子器			3,685
帽子			6,151
牛馬皮	ピコル	813	7,054
フークス			7,071
角	ピコル	159	2,314
図師用機具其他			6,570
燈			8,762
レツド、レツド	ピコル	127	1,073
草		904	32,171
諸種流動物			5,763
機械			179,746
穀穂			17,602
製藥			45,800
カストル油			1,504
石炭油			166,772
諸種油			3,368
油粕			3,863
塗油及塗繪具			5,828
白銅器			13,690
陶器			7,561
食用品			19,440
水銀	ピコル	195	18,903
幾那鹽	斤	40	1,247
レールウェー、プラント			7,950

馬具	..		5,770
靴	對		3,785
香石鹼	..		4,368
棒石鹼	ピコル		9,825
文具	..		8,282
暖爐及ト付属品	..		1,573
棒砂糖	ピコル		1,497
蒸氣船	..		6,000
クベストリー	..		875.69
茶包ニ鉛葉	..		4,920
刺烟艸	..		1,438
手拭	..		5,239
トランス	..		6,628
傘	..		18,645
袖時計	..		6,521
硝子板	..		2,3792
小間物	..		299,380
計	..	43,964	1,112,753
東洋産物雜種(代價總計761,044元)		43,964	1,112,753
赤砂糖	ピコル	29,919	169,631
同白	..	2,436	169,501
同氷	..	2,572	2,443
生棉	..		32,122
紅花		34,086	128,750
豌豆、蚕豆	ピコル	238	40,558
米	..		33,775

籐	ピツル	1,543	7,153
樟腦(精製ニタル)	"	11	6,249
麝香	斤	129	9,681
木香	ピツル	97	1,398
藍	"	65	1,192
ガルロー、ウード	"	21	2,960
蘇木	"	1,985	5,000
唐紙			29,676
支那茶	ピツル	134	3,915
支那絹	個	1,015	14,678
支那米	ピツル	980	6,876
鼈甲			5,378
明礬	ピツル	889	1,000
サフラン	"	4	2,009
犀角	"	18	7,559
海馬牙	"	11	3,406
薦			5,302
小間物			9,921
計			767,044

畧 表

木綿物	1,357,255
毛織物	916,004
毛木綿交織物	870,367
金屬	333,437
武器	2,056
雜貨	1,112,153
東洋產雜貨	761,044
輸入合計	5,354,917

(第二) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

兵庫港輸出貿易表
英國及其他諸國への輸出

(代價總計洋銀二百八十一万三千百〇二元)

		代價	代價
		弗	
生絲	ピコル		
屑糸	"	340	9,484
熨斗糸	"	33	2,640
	計		12,129
茶	"		
最上茶	"	44,726	1,672,329
粉茶	"	2,571	12,289
番茶	"	402	1,380
	計		1,685,998
銅各種	"	9,652	2,082,218
木蠟	"	10,181	93,277
烟草	"	5,490	38,018
樟腦	"	4,679	56,119
乾魚			
乾鮑	"	326	8,632
錫	"	2,151	32,454
煎海鼠	"	1,174	42,564
鱗鱈	"	146	5,584
介虫	"	1592	28,541
乾蝦	"	321	3,648
雜品	"	243	2,971
	計		124,314
雜貨	"	2,289	
椎茸	"	12,269	97,147

板昆布	ビコル	13,500	28,860	市
刺昆布	"	9,144	28,870	
計				57,731
寒天	"	6,244		152,386
屑壳蛹	"	214		4,735
石炭	"	9,499	1,896	
同	噸	190	4,152	
計				3,248
鮑貝	ビコル	1,250		3,020
藥種	"	2,794		12,038
人參	"	171		18,142
團扇	"			79,721
潰青銅	"			5,980
青銅器	"			9,861
漆器	"			27,124
木綿織物	"			15,342
植樹	"			3,204
食用品	"			2,598
陶器	"			19,415
屏風	"			1,255
絹織物	"			1,284
材木	"			7,606
日傘	"			3,807
生蜂蜜	ビコル	92		3,002
硫黃	"	2,519		4,149

			弗	弗
絲綿	532	314		5,402
硫酸	"	307	1,579	
硝酸	"	230	1,425	
計				3,004
菜種油	"	315	..	3,351
牡丹皮	"	546	..	2,899
屑布	"	2,070	..	1,407
蠟燭	1,270
帽子	1,678
靴	4,282
羅沙	21,012
機械	1,731
手套	2,020
畜產	1,046
雜貨	53,284
計				2,813,102

畧 表

円

生糸	12,129
茶	1,645,996
銅	209,218
木蠟	93,277
烟草	38,018
樟腦	56,119
乾魚	124,314
雜貨	635,029
輸出貿易通計	2,813,102

(第三) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

兵庫港ニ於ケル出入外國船積荷高表

國名	入港		出港	
	船数	噸数	船数	噸数
英國船	54	42,947	55	43,033
米國船	8	4,522	8	4,522
米國郵便船	89	114,946	89	114,946
佛國船	2	520	2	520
日耳曼國船	11	2,480	13	2,980
和蘭國船
魯西亞國船	2	970	2	970
通計	166	226,985	169	227,573

(但: 各國船舶入出港ヲ合セテ三百三十五艘
四十五万三千九百五十八噸ナリ)

(第四) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

兵庫港ニ於テ收入シタル輸出入税金及手数料表

税目	弗
輸入税	219,553
輸出税	100,117
手数料	5,817
通計	325,487

(第五) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

兵庫及大阪港輸出入貨幣數量表

	價 格	
	卍	卍
英國及諸外國ヨリ輸入	16,000	
日本諸開港場ヨリ輸入	236,370	
輸入總計		312,370
英國及諸他諸國へ向ケ輸出	346,371	
日本諸開港場へ向ケ輸出	1,866,155	
横濱へ向ケ輸出(政府分)	1,386,000	
輸出總計		3,598,526
輸入輸出合計		3,910,896

(第六) 一千八百七十五年十二月三十一日ニ終ル一周年間

兵庫港外國商社及居留人表

國名	會社ノ數	居留人員
英吉利	30	163 *
亞米利加	8	44 †
日耳曼	11	56
佛蘭西	2	17 †
伊太利	..	1
和蘭陀	6	34
瑞西	1	2
ヲーストローホンガリヤン國	..	5
葡萄牙
西班牙
丁抹
瑞典及ノ諾威
希臘	..	1
魯西亞
總計	56	323

日本官吏ノ報告ニ據レハ兵庫在留ノ支那人ハ二百四十八人ナリ

* 小兒四十八名ヲ除キ

† 小兒二十五名ヲ除キ

† 兵庫近傍ナル生野礦山ニ傭ハル、所ノ佛人九名ヲ合算ス

(第七) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

大阪港輸入貿易
英國及其他諸國ヨリ輸入

(代價總計洋銀五十九万二千四百七十五元)

			代 價
木綿物 (代價總計洋銀20,758元)			井
生金巾	碼	236,210	13,910
緋金巾	"	27,840	3,131
唐棧	"	12,000	2,424
綿天鵲絨	"	5,085	1,243
計			20,758
毛織物 (代價總計一千串)			
吳紹 (英産)	"	2,900	1,000
毛木綿交織物			
金屬 (代價總計洋銀77,157元 但日本政府需用品代價5,708元 此ノ内ニ籠メレリ)			
鉄	"	"	1,776
熟鉄	ピコル	6,138	23,875
鉄板	"	"	1,880
鉄塊	ピコル	3,373	4,660
鉄器	"	"	1,967
鉄線	ピコル	1,554	12,729
鉛塊	ピコル	2,680	15,043
鉛板	"	103	1,163
亜鉛	"	405	1,460
鋼鉄	"	164	3,202
錫	箱	267	4,077
錫板	"	"	2,323
計			77,157
武器類			
外國雜貨 (總計代價洋銀86,510元 但日本政府需用品代價9,131元 此ノ内ニ籠メレリ)			

			代價
硝子板	箱	1075	9368
革	ピコル	963	23,589
水銀	-	12	3,007
樟石礮	-	726	3,175
藥種	-	-	19,607
家具	-	-	1,616
石炭油及「チフター」油	-	573	2,950
瓦斯燈附屬品	-	-	1,752
磚	-	-	2,514
硝子器	-	-	2,457
雜貨	-	-	23,248
計			86,510
東洋産雜貨(代價總計洋銀41,998元)			
生綿	ピコル	83	1,308
白砂糖	-	26,691	185,651
同 赤	-	16,717	71,453
同 氷	-	985	9,397
紅花	-	-	43,293
朱	-	57	7,382
漆具	-	-	1,040
樟腦(精製ピコル)	-	2	1,090
牛角	-	1223	13,142
牛馬皮	-	-	4,607
犀角	-	-	2,562
馬蹄	-	-	5,548
木香	-	-	2,147

			代 價
藤			7,525
大 黄			12,232
蘇 木			1,111
麝 香	斤	92	6,201
ガルローラード	ピコル	8	1,001
五倍子			11,602
麻			2,569
唐 紙			9,390
亀 甲	斤	592	1,249
紫 檀	ピコル	654	1,375
支 那 米	"	880	1,651
雜 貨			17,216
計			419,985

畧 表

	代價 弗
木綿物	20,858
毛織物	1,000
毛木綿交織物	無
金屬	77,157
武器類	無
外國雜貨	86,510
東洋產雜貨	419,985
輸入貿易總計	605,510

(第八)一千八百七十五年十二月三十一日 終ル一周年間

大阪港輸出貿易表
英國及其他諸國へ輸出

(代價總計一銀：二万千〇九十二元)

		代價	代價
		弗	弗
生糸			
熨斗糸	ピコル 21	1,890	
屑糸	" 24	960	
	計		2,850
番茶	" 298		1,400
銅			
小間物	" 1,396	27,987	
針金	"	1,869	
	計		29,856
蠟			
木蠟	" 955	8,986	
蜜蠟	" 82	3,700	
	計		12,686
樟腦	" 3,696		43,629
乾魚			
乾鮑	" 89	1,287	
魷	" 1,814	30,261	
煎海鼠	" 103	5,834	
鱈鱈	" 12	1,356	
介虫	" 82	1,095	
貝柱	" 124	2,605	
	計		42,438
雜貨			
板昆布	" 3,057	4,966	
刺昆布	" 1,216	3,262	
	計		8,228

		代價	代價
寒天	232	486	15,767
桂茸	"	546	25,154
鹿角	"	"	1,000
菜種油	"	722	3,138
豌豆及蚕豆	"	176	1,472
牡丹皮	"	77	3,861
桂皮	"	"	1,000
藥種	"	2,078	9,823
人參	"	82	11,017
日傘	"	"	1,100
小間物	"	"	10,600
	總計	"	225,021

略 表

	代價 円
生糸	2,850
茶	6,000
銅	29,855
蠟	12,686
樟腦	43,629
烟草	
乾魚	42,438
雜貨	92,162
、輸出貿易總計	225,021

(第九) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

大阪港 = 於テ収入セル輸出入税金及ビ手数料表

税目	金額 円
輸入税	20,475
輸出税	10,017
手数料	70
合計	30,862

(第十) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

大阪港輸出入貨幣數量表

無
但シ大阪及ビ兵庫ノ間 = 鐵路開設以來輸出入ノ貨幣ハ悉ク兵庫港ヲ經過スルカ故ニ當港ノ輸出入表ニ入ルベキ分ニ渾ラ同港ノ表中ニ籠メレリ

(第十一) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

大阪港外國商社及居留人表

國名	會社ノ數	居留人異
英吉利	2	24 *
亞米利加	1	14
日耳曼	1	5
佛蘭西	1	7
和蘭陀	2	24 †
オーストロー・ホンガリヤン國
葡萄牙
西班牙
瑞西	1	4
丁抹
瑞典及ノ諾威
伊太利	..	1
希臘
魯西亞
總計	8	79

大阪在留支那人ノ數ハ五十人ナリ

* 鐵道局造幣局學校等ニ據ルル所ノ英國人十六名ニ此ノ内ニ
含蓄セリ

† 小兒ヲ含メテ

(第十二) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

大阪港出入小國積荷高表

國名	輸入		輸出	
	船數	噸數	船數	噸數
英國船	1	628	1	628
米國船	1	300	1	300
佛國船
日耳曼船
和蘭陀船
魯西亞船	1	471	1	471
合計	3	1399	3	1399

(第十三) 一千八百七十五年十二月三十一日 = 終ル一周年間

兵庫大阪兩港貿易高并積荷高總計表

英國及_レ其他各國_{ヨリ}輸入

兵庫	5354917
大阪	605510
兵庫大阪輸入品價額合計	5960427
英國及 _レ 其他各國 _ヘ 輸出	
兵庫	2813102
大阪	225021
兵庫大阪輸出品價額合計	3038123
輸入輸出總計	8998550
兵庫大阪兩港貨幣輸出入表	
英國及 _レ 其他各國 _{ヨリ} 輸入	321370
英國及 _レ 其他各國 _ヘ 輸出	6724496
輸入輸出貨幣合計	7036866

積荷高表

外國船舶	兵庫		大阪		合計	
	数	噸	数	噸	数	噸
入港	166	226,385	3	1,399	169	227,784
出港	169	229,573	3	1,399	172	228,972
	計				341	455,756

外國人商會并=居留人員表

兵庫		大阪	
會社	居留人員	會社	居留人員
558	333	35	79

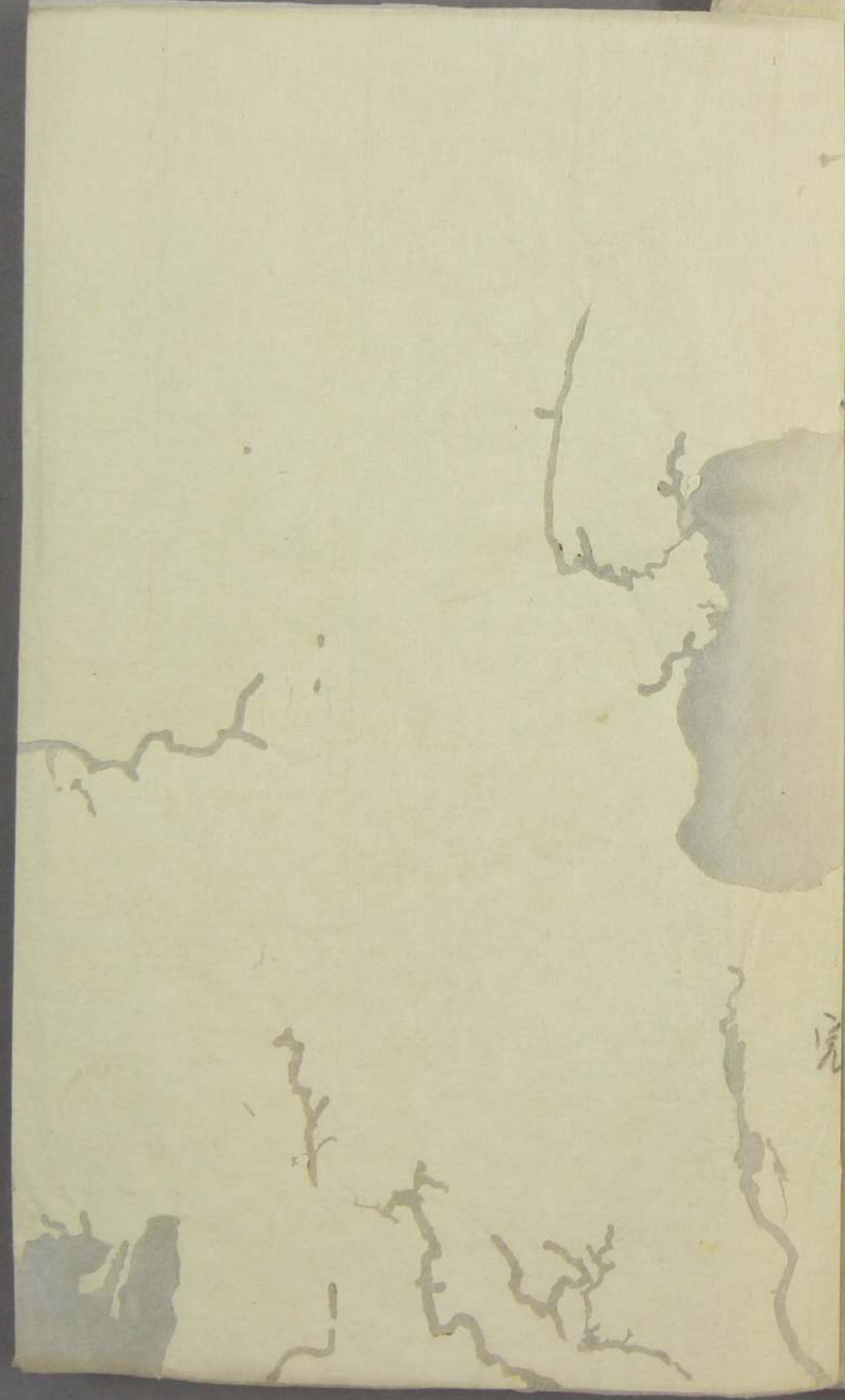
兵庫大阪商會并=居住人總計

會社	64
居住人員	412

兵庫大阪兩港收入税金并=手数料表

輸入税	240,328
輸出税	110,184
手数料	5,882
計	356,394

代領事 エ、エ、エンチスリー 署



蘇 高 青 軒

指合		羽大		車夾		龍銀四水
駟	飛	駟	飛	駟	飛	
434122	101	1111	2	111122	101	表入
511122	111	1111	2	111122	101	表出
111122	111				指	

此圖入龍金生。指合入龍表

大 河 大 車 夾

